

2020 年度 FD 活動報告書



洗足学園音楽大学

目次

FD 委員会/大学院 FD 委員会の記録	3
FD 研修会	4
各コースの FD 活動の記録	6
シラバスチェック	10
学修行動調査	14
授業に関するアンケート	15
卒業・修了時満足度調査	17
FD 委員会規程	20
大学院 FD 委員会規程	21
資料 1 : FD 研修会 (チラシ)	22
資料 2 : 学修行動調査結果	23
資料 3 : 授業に関するアンケート結果	30
資料 4 : 卒業時満足度調査結果	38
資料 5 : 修了時満足度調査結果	44

FD 委員会/大学院 FD 委員会の記録

2020 年度の FD 委員会と大学院 FD 委員会は、音楽学部と音楽研究科の一体的な教育改善を図る為、合同で実施した。

第 1 回 2020 年 5 月 21 日 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

第 2 回 2020 年 7 月 2 日 (木) 10:00~11:00

報告事項：①年間スケジュール

②2019 年度授業に関するアンケート結果報告

③2020 年度開講科目対象シラバスチェック結果報告

④2020 年度楽典実力試験結果報告

⑤学外 FD 情報

審議事項：①2020 年度授業に関するアンケート実施要領

第 3 回 2020 年 10 月 8 日 (木) 11:00~12:00

報告事項：①2019 年度 学修行動調査結果

②2019 年度 卒業時満足度調査結果

③2020 年度前期 授業に関するアンケート報告

④学外 FD 情報

⑤大学コンソーシアム京都 FD 合同研修プログラム報告

審議事項：①2020 年度 学修行動調査実施要領

②2020 年度 FD 研修会

第 4 回 2020 年 12 月 3 日 (木) 11:00~12:00

審議事項：①2021 年度シラバスチェック実施要領について

報告事項：①学外 FD 情報

ワークショップ：シラバスチェックをワークショップ形式で実施



FD 研修会

【研修期間】2020年11月6日（金）～12月12日（土）

【講演テーマ】エンrollment・マネジメントをどのように捉え、どのように進めるか

【講師】 鳶田 敏行 氏（茨城大学准教授）

【講演内容】

エンrollment・マネジメントとは、学生の入学前から卒業後までの一連の学びの実態を把握し、支援へと結びつける米国の大学で生まれた学生マネジメント手法の一つである。本セミナーでは、米国のエンrollment・マネジメントモデルを概説し、日本の大学において、入口から出口までをどのように追っていけばよいかなどについて事例データを見つめながら、参加者とともに学ぶ。

【備考】東北大学高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センターが提供する、専門性開発プログラム（Professional Development Program; PDP）を利用した研修会となる。

【参加者数】

対象者数	受講者数	受講率
69名	55名	79.7%

【受講者アンケートより】

設問 1 今回の研修に参加して、良かったと思いますか。

とても良かった	21人	38.2%
良かった	30人	54.5%
あまり良くなかった	3人	5.5%
良くなかった	1人	1.8%

設問 2 研修内容について理解することができましたか。

理解できた	29人	52.7%
どちらかといえば理解できた	24人	43.6%
どちらかといえば理解できなかった	2人	3.6%
理解できなかった	0人	0%

設問 3 今後、取り上げてほしいテーマがありましたら、お書きください。

- ・授業改善アンケートの分析評価について
- ・様々なテーマを順次一巡していただけたらと思います。
- ・芸術系大学の教育に特化したFD
- ・まだしばらくはコロナに振り回されると思いますので、他大学（音大）はどのような対応を行ったかなど、個人的に得た情報ではなく、改めて他音大の様子を聞いてみたいです。|
- ・先生から学生へのパワーハラスメント。
- ・より良いオンライン授業

- ・本学（をはじめ、全ての大学）が、入り口を広くし、その上で出口のハードルを上げるための、アプローチ。（行政への働きかけを含む。）
- ・高等教育政策の解説、学修成果の可視化、内部質保証

設問 4 ご意見・ご感想がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・授業改善アンケートの分析評価について委各員会で取り上げてほしい。
- ・アメリカの大学の有り様に言及されていたところが、特に新たな知識となりました。日本と事情がかなり異なるとは言え、参考になる視点も多くいただきました。
- ・受験生に対して、洗足に入学後を個々イメージしながら入試広報をすすめる上で、大変勉強になりました。
- ・これまで研修会の事をポータルに掲示しても出席者が少なく毎回残念でした。研修会も対面になった場合再び寂しい参加者数になる事は明らかなので、オンラインでの開催は今後も継続した方が良いと思いました。
- ・アメリカと日本では文化も違いますし、考え方も違います。アメリカの教育現場の情報を伝える時間が非常に長く使われていましたが、アメリカと日本を比べる根拠が今ひとつ明確ではありませんでした。
- ・社会において存在意義のある大学になれるよう、広い視野を持つての教員としての活動、努力をしなければならぬと改めて考える機会となりました。
- ・時々勉強はできてとても良かったです。
- ・実技を伴う芸術系大学に特化したテーマでの内容があるともう少し現実的にとらえられる気がする。実技教員の多くは経営者ではなく、一芸術家が多くそのスキルを教育・後輩指導にあたっているものがあるだろうから。
- ・面白くて為になる授業少人数での授業は学生にとってプラス、大学の経営にはマイナスバランスの難しさに日々、直面しております。今後の研修で勉強し、ヒントを見つけて行くことが出来たらと思います。
- ・学生に好まれる講義を行いつつも、確実に実力を伸ばすことが大切。「楽しい講義」は良いが「楽な講義」になってはならない。卒業生が活躍することで、大学自体の評価が上がり、優秀な入学生獲得に繋がりたい。
- ・コロナ禍の状況において、オンラインでの研修会はとても有効な方法だと感じました。

各コースの FD 活動の記録

報告月	コース	活動内容
9月	現代邦楽	<p>■ オンライン授業の実施にむけて、4月から5月にかけて断続的にコース内教員連絡やミーティングを行った。classroom、Meet、zoom、等の使用方法の習熟、オンライン授業&レッスンの実施方法、学生のモチベーションのグリップ等について、情報共有・習熟・検討を重ねた。7月末にも前期末の報告会として zoom 教員ミーティングを行った。</p> <p>■ コロナの第3,第4の感染ピークに備え、オンライン上におけるグループワーク実施の方法の検討は、今後に向けての重要な課題と思われる。「邦楽ワークショップ」授業では、オンラインで音楽づくりワークショップを実施し、オンラインの特性を生かした音楽づくり教育プログラムの研究を推進している。</p>
10月	打楽器	<p>■ 後期もリモートで授業に参加している学生がおり、日常の授業、実技試験に至るまで対面の学生との平等性を保ちながらどの様に対応していくかディスカッションがなされた。学生の日頃の生活についてアカデミックプロデューサーとアカデミックアドバイザーで話し合いを持ち学部生を対象に注意喚起を行った。</p>
10月	ジャズ	<p>■ 9/15（火）専任会議にて後期授業の運営方針と新型コロナ問題に関する対策の件、それらを含めたコース内での雰囲気づくりについて話し合った。</p> <p>■ 9/26（土）専任会議にて来年度以降のカリキュラムの方向性に伴う授業のあり方、学生募集等について話し合った。</p>
10月	現代邦楽	<p>■ コース内特別イベント開催後の成果共有 7月に開催予定だった GH コース前期成果発表演奏会「和のいろは」の開催中止を補完する目的で、9月5日に関係者限定クローズド・イベントとして、前期末成果発表演奏会＜GH コース研究演奏会＞を開催した後、そのステージの記録動画をコース内で限定公開共有して、後期の実技指導に向けての情報共有を行った。</p> <p>■ 大学院笛専攻学生の指導方針についての確認 今年度、学部と大学院を通じて初めて在籍者が誕生した笛（篠笛等）専攻学生（大学院1年）の指導の更なる充実を目指して、「プロフェッショナル研究」の有効活用を含めて、APと笛専攻指導教員で検討を行った。</p>

10月	声楽	<ul style="list-style-type: none"> ■ 9/2 (水) Google Meet オペラ実習主担当会議 後期ガラコンサートについて～ IT オペラの可能性と具体的方法について ■ 9/4 (金) Google Meet オペラ実習担当者会議 後期オペラ実習重唱演目の決定 ■ 9/15 (火) Google Meet 第3回新型コロナ対策・声楽部門運営臨時会議 対面授業におけるパターションの使用管理と オンラインとの併用授業の対策
10月	音楽環境創造	<ul style="list-style-type: none"> ■ 9/23 (水) 名古屋大学教育基盤連携本部 高等教育システム開発部門シンポジウムに参加。参加者:前田康徳 ■ 9/27 (日) 「未来に向けた新しい公演形態～オーケストラを事例に～」(日本アートマネジメント学会関東支部研究会に参加。参加者:前田康徳)
11月	ジャズ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 10/15 (木) 専任会議において、新型コロナ禍における授業運営のあり方についてミーティングを行った。この状況下で授業をポジティブな方向に向け運営するための具体的な案などについて意見交換をした。 ■ 10/19 (月) 専任会議において、在学生に配信のノウハウを学ぶ機会を与えることについての考え方や具体的な実施についての話し合いをした。
11月	現代邦楽	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルス禍の中での在宅中心の自律的生活が基本となって半年あまりが経過している今、ともすると"自粛疲れ"に陥りかねない時期になっていると考えられるため、10月中、特に一人暮らしの学生や留学生のケアを中心に、教員間の情報共有に務めた。
11月	声楽	<ul style="list-style-type: none"> ■ 10/14 (水) e カフェにて オペラ実習ガラコンサート 打ち合わせ ■ 10/14 (水) 20:00 第3回声楽部門運営会議 後期試演会実施について～学年末声楽実技試験 オンラインでの実施方法 ■ 10/16 (金) AA 飯田千夏先生 クラスミーティング ■ 10/21 (水) AA 佐藤亜希子先生 クラスミーティング
11月	ワールドミュージック	<ul style="list-style-type: none"> ■ 10/19 (月) WM 演奏論の担当教員とのオンライン授業に伴う講義内容の変更の相談を行う
12月	打楽器	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大型のセッティングを要し、アンサンブル時に必要な部屋が不足がちでレッスンや合わせが円滑に実施できない状況を少しでも緩和すべく、情報の共有、意見交換を行った。
12月	ジャズ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 11/16 (月) 専任会議において、新型コロナ禍におけるジャズコースの取り組みを前月同様感染拡大防止を最優先とし、その上で学びを深めていくための様々な方策について話し合いました。 ■ 11/21 (土) 専任会議において、来年度カリキュラム等についての話

		し合いを行い、アンサンブル／ラボやジャズに重要な科目の再検討、実際の運営などについて意見交換をしました。
12月	現代邦楽	11/16（月）と11/18（水）にGHコース教員ミーティングをオンラインで行った。主要議題は下記の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 学年末にむけての各種申し合わせ。 ■ 新型コロナウイルス禍が続く中で学生の心神の健康への配慮について。 ■ 近年増加傾向にある留学生への対応、留学生入試についての、情報交換と共通認識の構築。 ■ 2021年度開講講座・時間割についての確認
12月	声楽	■ 11/5(木)11:00 2021年度授業 打ち合わせ
12月	音楽教育	■ 本年度FD研修会(オンライン)「エンrollment・マネジメントをどのように捉え、どのように進めるか」の受講を通し、APと副AP間で11/9(月)にメール上で意見交換を行った。
12月	教職課程	全国私立大学教職課程協会「2020年度教職課程運営に関する研究交流集会」：12/12（土）オンライン会議に参加
1月	ジャズ	■ 12/17（木）専任会議において・レーティングシステムの見直し・アンサンブル／ラボクラスの編成について等、来年度に向けた授業内容の詳細について話し合い、検討しました。
1月	声楽	■ 12/10(木)Google MeetによるAAAP会議 学生とのAA面談の報告
1月	ワールドミュージック	■ 12/16（水）ワールドミュージック概論、演奏論担当者オンライン会議 2021年度の授業計画についての意見交換
1月	打楽器	■ 部屋の改変に伴い、練習室の確保、楽器の収納場所に於いて現状を共有し今後の対応について意見交換を行った。楽器の使用状況や消耗について楽器室からの指摘も合わせて問題点を共有し、新年度へ向けて学生全体でミーティングを持ち注意喚起をすることとなった。
1月	ジャズ	■ 1/21（木）専任会議において入試、楽器構成、カリキュラム、アドバイジング等についての意見交換を行い、今後の方針などコース運営全般について話し合いました。
1月	現代邦楽	■ 1月から2月にかけて、実技試験審査等で教員が集まる機会を活用して、今年度のまとめの情報共有や来年度にむけての検討等を断続的に実施している。特に、2021年度にリニューアルをする講座、「邦楽サウンド論」「邦楽古典作品研究」「邦楽現代作品研究」については、3月にかけて検討会等を行っていく予定。

1月	声楽	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1/11(月・祝)Google Meet による 歌曲研究担当者会議「歌曲の祭典」の反省会と来年度の演奏会について ■ 1/16 (土) Google Meet による オペラ実習担当者会議 来年度の授業について (これからの予定) ■ 2/3 (水) Google Meet による 声楽部門運営会議
2月	ワールド ミュージック	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1/18 (月) 来年度開講の卒業研究の授業担当 6名の教員によるオンライン会議。授業概要、到達目標など授業の細部についての意見交換、調整を行った。
3月	ジャズ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2/10 (水) AP&AA 会議を行いました。来年度より新しくなる AA と AP, 副 AP で履修について、学業及び学生生活のサポートについて、コース全体の動きや流れについてなどを確認し、話し合い、協力体制を作っていくための活発な意見交換となる会議となりました。

(教授会定例報告で報告された事項のみ記載)

シラバスチェック

1. 目的

FD 活動の一環として、シラバスの記載内容を確認し、今後の本学の授業内容及び方法の改善に役立てることを目的として実施します。

2. 対象科目

- ・学部・専攻科・大学院の 2021 年度全開講科目（講義・レッスン）の全てを対象とします。
- ・兼任講師が担当する授業科目も対象とします。

3. シラバスチェック担当者

- ・大学院 FD 委員会委員、FD 委員会委員（授業担当者以外の第三者）

4. 実施の流れ

月日	項目
2/4（木）	担当シラバス配布（2月教授会にて）
2/4（木）～2/18（木）	シラバスチェック
～2/19（金）	チェックシート等の提出（チェック担当教員→事務局）
～シラバス公開日	科目担当者への修正依頼（事務局→科目担当者）
3/1（月）～3/31（水）	集計・分析
未定	結果報告（2021年度FD委員会）

5. チェック項目（次ページ）

6. チェック表の提出（メール）、朱入りシラバス原稿の提出

- ・提出先：FD 委員会事務局
- ・提出締切日：2021 年 2 月 19 日（金）

7. フィードバック

- ・各教員及び教員組織（大学院 FD 委員会、FD 委員会）は、授業改善のための資料として集計結果を活用するものとします。
- ・チェック内容の結果は、必要に応じて、担当教員に提示します。
- ・チェック内容の赤字項目の結果は、授業担当教員に提示し、2021 年度授業開始前までに内容を修正していただきます。

《チェック項目》

項目	点検内容	
到達目標	①	学習の到達目標が具体的に示されているか。
	②	学習の到達目標が現実的なものであるか。
	③	学習の到達目標が測定可能なものであるか。
	④	学生を主体として、わかりやすく書かれているか。
授業時間外の学習 (予習・復習)	①	授業時間外学習の内容や方法が示されているか。
	②	授業時間外学習に必要な時間の目安は示されているか。
成績評価の方法 および基準	①	授業の到達目標や授業の内容を踏まえ、評価方法及びその割合が示されているか。
	②	評価基準は明示されているか。
	③	「出席点や出席状況で〇〇%」という記載をしていないか。授業は出席するのが当然なので、出席のみで評価がされるような記載は認められません。
テキスト・参考文献	①	「テキスト・教科書」と「参考文献（参考資料・参考書）」のどちらかは具体的に明示されているか。
授業計画	①	授業で取り上げる項目や重要な概念は明示されているか。
	②	半期 15 回分（または通年 30 回分）の授業内容 やその相互の関連が示されているか。
	③	「試験」を授業回数に含んでいないか。「試験」だけでは授業とは認められないので、「試験とまとめ」のように授業を行っていることがわかるような記述が必要となります。
評価結果		特に改善が必要と思われるものに関しては、改善を依頼するコメントを記入してください。特に、修正を要するコメントの付いたものは、事務局より、個別に担当教員に連絡いたします。

2021 年度開講科目シラバスチェック 主な指摘事項（集計）

項目	点検内容	主な指摘事項	2020	2021
到達目標	① 学習の到達目標が具体的に示されているか。 ② 学習の到達目標が現実的なものであるか。 ③ 学習の到達目標が測定可能なものであるか。 ④ 学生を主体としてわかりやすく書かれているか。	・具体的な記述が必要 ・わかりやすい表現の為に工夫が必要	35	52
授業概要	① 初学者にとってわかりやすく、具体的な記述がなされているか	・具体的な記述が必要	12	3
授業時間外の学習	① 授業外学習の内容や方法が示されているか。	・具体的な方法、指針の記述が必要 ・具体的な予習復習の方法を提示する	96	144
成績評価の方法及び基準	① 授業の到達目標や授業の内容を踏まえ、評価方法及びその割合が示されているか。 ② 評価基準は明示されているか。	・それぞれの評価方法が全体の何%なのかを示す ・「平常点」と「授業への参加姿勢・授業態度」の違いが不明	58	137
	③ 「出席点や出席状況で〇〇%」という記載をしていないか。授業は出席するのが当然なので、出席のみで評価がされるような記載は認められません。	・出席により評価されるような記載は認められない ・「出席点、出席状況」といった出席に関する内容は記載しない	0	15
授業計画	① 授業で取り上げる項目や重要な概念は明示されているか。	・相互の関連性が必要 ・記述内容を明確にすること	33	53
	② 半期 15 回分（または通年 30 回分）の授業内容やその相互の関連が示されているか。	・同様のテーマを取り扱う場合であっても、数字のみで区別するのではなく、回数ごとに扱うテーマのキーワードを記載し、各回の学習内容の違いを明確にする（数字での区別・後期での内容省略）	34	36
	③ 「試験」を授業回数に含んでいないか。「試験」だけでは授業とは認められないので、「試験とまとめ」のように授業を行っていることがわかるような記述が必要となります。	・「試験」が回数に含まれている	0	1
テキスト・参考文献	① 「テキスト・教科書」と「参考資料（参考文献）」の両方が「なし」は認められません。（文部科学省からの新規通達、2017 年度より）	・テキスト・教科書・参考文献に関しては、いずれかの項目に資料名を記載する	72	133
履修の条件等	①	・記述表現への指摘 等	72	11
		合計	412	585

2021 年度開講科目シラバスチェック 主な指摘事項

【1】今回の結果について

1. 2021 年度のシラバスチェックにあたり、ワークショップを開催した成果もあり、585 件の指摘事項（前年度比+173 件）をいただいた。シラバスチェックの結果、昨年 0 件であった「成績評価の方法及び基準」において③の指摘を 15 件指摘されたことは残念であった。次年度の執筆時に、徹底を図りたい。
2. 重点項目（「成績評価の方法及び基準」に出席に関する記述を行わない。「授業計画」欄に同様の内容を扱う場合であっても各回の学習内容の違いを明確にすること。「授業計画」欄に試験だけの回を設けないこと）における指摘 52 件については、科目担当教員に個別にフィードバックを行い「改善報告書」をご提出いただき修正を行った。
3. 「授業時間外の学習（予習復習について）」欄において、具体的な方法や目安となる時間が明示されていないとの指摘が一番多く、144 件あった。大学における単位制度では、大学設置基準に示されているように、1 単位の修得に必要な学習時間は 45 時間（講義の場合：講義 15 時間、予習復習 30 時間）と定められている。つまり、予習復習を含めての単位認定であることを改めて確認し、本欄の記述の充実を図りたい。
4. 「授業で使用するテキスト・参考文献」欄において、特になしの記載が多かった。2017 年度の文部科学省からの通達には、「テキスト・教科書」と「参考資料（参考書）」の両方とも「なし」は認められないとある。予習復習の充実のためにも、本欄の記述の徹底を図りたい。

【2】今後の課題等について

1. シラバスチェックで指摘された内容の精査に時間がかかり修正作業が滞ってしまった。そのため、学生にシラバスを開示する前まで修正作業を完了することができなかった。
2. シラバスチェック評価者の基準にばらつきが見られたように思われる。シラバス記載内容が同じような場合であっても、指摘がなされる場合と指摘がなされない場合が生じている。そのため、今回の指摘事項をそのまま科目担当者へフィードバックしてよいものか検討が必要。
3. また、上記 2 に関連して、今後は、実際のシラバスチェック前に評価者自身の基準を統一するための研修・打合せが必要であると思われる。
4. 2020 年 3 月 11 日付の大学基準協会からの「『改善報告書』の検討結果について（通知）」（2020 年 3 月 23 日教授会報告）によると、本学シラバスに対し、「『授業計画』が各回のタイトルのみを表示した科目が散見されることから、学生の学修に役立つシラバスとなるよう更なる改善が望まれる」との意見を受けている。今まで本学が許容してきた基準よりも、より厳しい基準によるシラバスが求められていることがわかる。よって、次年度以降のシラバス執筆要領を改訂する必要がある。

学修行動調査

1. 目的

FD 活動の一環として、学生の学修時間の実態や学修行動・学修経験を把握し、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実に役立てることを目的として実施します。

2. 対象

- ・学部・専攻科・大学院の全学生（正規生）を対象とします。
- ・科目等履修生・聴講生（非正規生）は対象外とします。

3. 実施の流れ

時期	項目
10/19（月）～10/31（土）	アンケートの実施（SENZOKU ポータル）
	アンケートの実施（SENZOKU ポータル）延長
11/2（月）～3/18（木）	実施結果の閲覧（SENZOKU ポータル）

4. アンケートの質問内容と回答（別紙）

5. 集計

- ・以下の 2 種類の集計を実施します。

種類	内容
学年別集計	学年別による集計
全体集計	アンケート全体の集計

6. 結果の提示

- ・学年別集計及び全体集計は、SENZOKU ポータルを通じて、学生に提示します。

7. フィードバック

- ・教員組織（大学院 FD 委員会、FD 委員会、教務委員会、IR 委員会等）は、教育改善のための資料として調査結果を活用するものとします。

授業に関するアンケート

1. 目的

FD 活動の一環として、学生からの授業に対する意見・感想を聞き、今後の本学の授業内容及び方法の改善に役立てることを目的として実施します。2020 年度前期においては、「遠隔授業」における学修者の声も授業レベルで把握し、教育改善につなげていくことを目的とします。

2. 対象科目

- ・学部・専攻科・大学院の全開講科目（講義・レッスン）を対象とします。
- ・兼任講師が担当する授業科目も対象とします。

3. 実施の流れ

前期科目	後期科目・通年科目	項目
7/20（月） ～8/29（金）	12/7（月） ～2/19（金）	アンケートの実施 （SENZOKU ポータル）
8/31（月） ～3/31（木）	3/1（月） ～7/31（土）	実施結果の閲覧 （SENZOKU ポータル）
2020 年 10 月	2021 年 6 月	大学ホームページへの掲載

4. アンケートの質問内容（別紙）

5. 集計

- ・以下の 2 種類の集計を実施します。

種類	内容
担当科目集計	各担当科目別の個々の教員データの集計
科目分類集計	講義、レッスン、室内楽研究、アンサンブル・ラボ、教職ピアノ実習の 5 分類による集計

6. 結果の提示及び公表

- ・担当科目集計及びアンケート結果は、SENZOKU ポータルを通じて、担当教員及び受講者に提示します。
- ・科目分類集計は、大学のホームページで公表します。

7. フィードバック

- ・各教員及び教員組織（大学院 FD 委員会、FD 委員会、カリキュラム委員会等）は、授業改善のための資料としてアンケート結果を活用するものとします。

No	設問文（講義）
1	この授業に何回出席しましたか。
2	この授業のために1週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。
4	シラバス（主題と目標、授業計画）に沿って授業が行われましたか。
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか。
6	教員の声や話し方は明瞭でわかりやすかったですか。
7	板書や視聴覚教材の利用、資料の提示方法は適切でしたか。
8	授業に集中できるよう配慮をしていましたか。（私語の防止、遅刻への対応）
9	学生から質問や発言する時間が与えられていましたか。
10	この授業を受講して有意義でしたか。
11	この授業の開始・終了時刻は守られていましたか。
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか。
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか。
14	この授業を総合的に評価して満足していますか。
15	この授業でよかった点を入力してください。（自由記述）
16	この授業で改善してほしい点を入力してください。（自由記述）
17	遠隔授業を受講する際、主に使用している端末を教えてください。 ・スマートフォン ・タブレット ・パソコン ・その他
18	遠隔授業での課題提出の指示はわかりやすかったですか。
19	遠隔授業での課題の量は適切でしたか

No	設問文（レッスン）
1	このレッスンに何回出席しましたか。
2	このレッスンのために1週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか。
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか。
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか。
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか。
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか。
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか。
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか。
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか。
12	このレッスンでよかった点を入力してください。（自由記述）
13	このレッスンで改善してほしい点を入力してください。（自由記述）

卒業・修了時満足度調査

1. 目的

FD 活動の一環として、卒業予定者を対象に学修成果を確認し、且つ、大学の提供した教育及び学生生活支援に対する総合的な意見・感想を聴取することにより、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実に役立てることを目的として実施します。

2. 対象

- ・正規生の学部 4 年生、大学院 2 年生を対象とします。
- ・非正規生の科目等履修生・聴講生は対象外とします。

3. 実施の流れ

前期	項目
1/14 (水) ~ 3/12 (金)	アンケートの実施 (SENZOKU ポータル)
4/5 (月) ~ 5/14 (金)	実施結果の閲覧 (デジタルサイネージ)

4. アンケートの質問内容 (別紙)

5. 集計

- ・以下の集計を実施します。

種類	内容
全体集計	アンケート全体の集計

6. 結果の提示

- ・集計結果は、デジタルサイネージを通じて、在学生に提示します。

7. フィードバック

- ・教員組織 (大学院 FD 委員会、FD 委員会、IR 委員会、教務委員会等) は、教育改善のための資料として調査結果を活用するものとします。

《質問内容・学部》

No	設問文	備考
1	教員や授業内容について、全般的にどの程度満足していましたか。	
2	シラバスからは、各授業科目の到達目標、学習内容、成績評価方法などについての的確な情報を得ることができた。	
3	それぞれの授業科目が何を目指したものが、到達目標が明確だった。	
4	授業では、学生の学習意欲を高める工夫がなされていた。	
5	単位認定や成績評価は明確な基準・方法に基づいて適切に行われていた。	
6	授業のレベルは全体的にみてどうでしたか。	
7	職員の対応について、全般的にどの程度満足していましたか。	
8	事務手続きについて、全般的にどの程度満足していましたか。	
9	学内の教育関連設備・施設は、どの程度充実していましたか。	
10	（専門性、専門実技）自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができるようになった。	
11	（多様性の尊重）社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができるようになった。	
12	（協働する力）自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができるようになった。	
13	（社会貢献・実践的態度）自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度が身に付いた。	
14	（論理的思考力・問題解決力）論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができるようになった。	
15	洗足学園音楽大学を卒業して良かった。	
16	自らが所属したコースで学んだ意義があった。	
17	洗足学園音楽大学を卒業したことを誇らしく思っている。	
18	洗足学園音楽大学に愛着を持っている。	
19	洗足学園音楽大学に対する総合的な満足度（10点法）	
20	本学に対して、ご意見・ご要望・その他ご感想等があれば、自由に入力してください。（教員・職員、授業、施設・設備、演奏会、学内イベント、就職活動等）	

《質問内容・大学院》

No	設問文	備考
1	教員や授業内容について、全般的にどの程度満足していましたか。	
2	シラバスからは、各授業科目の到達目標、学習内容、成績評価方法などについての的確な情報を得ることができた。	
3	それぞれの授業科目が何を目指したのか、到達目標が明確だった。	
4	授業では、学生の学習意欲を高める工夫がなされていた。	
5	単位認定や成績評価は明確な基準・方法に基づいて適切に行われていた。	
6	授業のレベルは全体的にみてどうでしたか。	
7	職員の対応について、全般的にどの程度満足していましたか。	
8	事務手続きについて、全般的にどの程度満足していましたか。	
9	学内の教育関連設備・施設は、どの程度充実していましたか。	
10	（専門性、専門実技）自らの専門分野の高度で専門的な知識・技能あるいは研究能力を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。	
11	（多様性の尊重）社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。	
12	（協働する力）自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。	
13	（社会貢献・国際貢献・実践的態度）国際社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。	
14	（論理的思考力・問題解決力）論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。	
15	（プロフェッショナル）社会における自らの専門分野の意義と役割を理解し、専門家として主体的で創造的な研究活動を継続することができる。	
16	洗足学園音楽大学大学院を修了して良かった。	
17	自らが所属した専攻・コースで学んだ意義があった。	
18	洗足学園音楽大学大学院を修了できることを誇らしく思っている。	
19	洗足学園音楽大学大学院に愛着を持っている。	
20	洗足学園音楽大学大学院に対する総合的な満足度（10点法）	
21	本学に対して、ご意見・ご要望・その他ご感想等があれば、自由に入力してください。（教員・職員、授業、施設・設備、演奏会、学内イベント、就職活動等）	

FD 委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、洗足学園音楽大学教授会規程第9条第1項の規定に基づき、FD委員会の組織及び運営の方法その他必要な事項について定める。

(組織)

第2条 FD委員会は、次の各号にかかげる者をもって組織する。

- (1) 学部長
- (2) 学長の指名した教職員

(会議)

第3条 FD委員会に委員長を置き、学長の指名した者がこれに当たる。

- 2 委員長は、FD委員会を招集し、その議長となる。
- 3 FD委員会に副委員長を置くことができる。
- 4 副委員長は、学長の指名した者とし、委員長を補佐する。
- 5 議長は必要があると認めるときは、FD委員会の同意を得て前条に定める構成員以外の教職員を出席させることができる。

(会議成立の要件)

第4条 FD委員会は、当該構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。

(審議事項等)

第5条 FD委員会は、教授会の委任に基づき次の各号にかかげる事項を審議する。

- (1) FD活動の企画立案
 - (2) FD活動の実施計画の立案
 - (3) FD活動の評価
 - (4) FD活動に関する情報の収集と提供
 - (5) その他学長の諮問する事項
- 2 FD委員会の構成員は、審議に関して同等の権利及び義務をもつ。

(議決)

第6条 FD委員会は、出席者の過半数をもって決定する。

- 2 賛否同数のときは、議長の決するところによる。

(議事録)

第7条 FD委員会の議事進行の過程及び決定事項は、議事録に記録する。

(事務の所管)

第8条 この規程に関する事務は、教学センターが所管する。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、教授会の審議に基づき、学長が決定する。

大学院 FD 委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、洗足学園音楽大学大学院教授会規程第9条第1項の規定に基づき、大学院FD委員会の組織及び運営の方法その他必要な事項について定める。

(組織)

第2条 大学院FD委員会は、次の各号にかかげる者をもって組織する。

- (1) 研究科長
- (2) 学長の指名した教職員

(会議)

第3条 大学院FD委員会に委員長を置き、学長の指名した者がこれに当たる。

- 2 委員長は、大学院FD委員会を招集し、その議長となる。
- 3 大学院FD委員会に副委員長を置くことができる。
- 4 副委員長は、学長の指名した者とし、委員長を補佐する。
- 5 議長は必要があると認めるときは、大学院FD委員会の同意を得て前条に定める構成員以外の教職員を出席させることができる。

(会議成立の要件)

第4条 大学院FD委員会は、当該構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。

(審議事項等)

第5条 大学院FD委員会は、教授会の委任に基づき次の各号にかかげる事項を審議する。

- (1) FD活動の企画立案
- (2) FD活動の実施計画の立案
- (3) FD活動の評価
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供
- (5) その他学長の諮問する事項

- 2 大学院FD委員会の構成員は、審議に関して同等の権利及び義務をもつ。

(議決)

第6条 大学院FD委員会は、出席者の過半数をもって決定する。

- 2 賛否同数のときは、議長の決するところによる。

(議事録)

第7条 大学院FD委員会の議事進行の過程及び決定事項は、議事録に記録する。

(事務の所管)

第8条 この規程に関する事務は、教学センターが所管する。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、教授会の審議に基づき、学長が決定する。

資料 1 : FD 研修会 (チラシ)

 洗足学園音楽大学

2020年度 FD研修会(オンライン)

【講演テーマ】

エンrollment・マネジメントをどのように捉え、どのように進めるか

【講師】 嵐田 敏行 氏(茨城大学准教授)

【講演内容】全37分

エンrollment・マネジメントとは、学生の入学前から卒業後までの一連の学びの実態を把握し、支援へと結びつける米国の大学で生まれた学生マネジメント手法の一つです。本セミナーでは、米国のエンrollment・マネジメントモデルを概説し、日本の大学において、入口から出口までをどのように追っていけばよいかなどについて事例データを見つめながら、参加者とともに学んでいきます。

【研修期間】2020年11月6日(金)～12月12日(土)

【研修参加方法】

①PCにて、下記URLにアクセスし、講演を視聴してください。タブレットによる視聴はできません。

<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/PDPonline/archive/detail.php?id=100>

②視聴後、SENZOKU ポータル「揭示・アンケート」の「アンケート回答」にアクセスし、「2020年度FD研修会参加者アンケート」に回答してください。

【備考】東北大学高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センターが提供する、専門性開発プログラム(Professional Development Program; PDP)を利用した研修会となります。

FD委員会/大学院FD委員会

資料2：学修行動調査結果

2020年度 学修行動調査

洗足学園音楽大学・大学院
FD委員会/大学院FD委員会

1

<1> 調査概要

【調査目的】学生の学修時間の実態や学修行動・学修経験を把握し、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実につなげる

【実施方法】SENZOKUポータル・アンケート機能にて

【対象】音楽学部、音楽専攻科、音楽研究科(全専攻、全コース、全学年)

【実施時期】2020年10月19日～11月15日

【所要時間】10分弱

【質問数】90問(学部1年・専攻科・大学院1年は72問)

【調査項目】通学日数 / 学習時間 / 学習以外の時間の過ごし方 / 課外活動の実施状況 / 授業の出席率 / 大学教育の選好 / 授業への取り組み / 学修成果 / 大学満足度

【比較対象】

ベネッセ総合教育研究所「第3回大学生の学習・生活実態調査報告書」(2016年実施/2018年調査結果公表)

東京大学大学院教育学研究科 大学経営・政策研究センター「大学教育についての職業人調査」(2009年)

2

〈2-1〉 調査の背景

- ◆ 私学事業団「一般補助・教育の質に係る客観的指標調査」(経常費補助金)への対応
- (設問) **学生の学修時間の実態及び学修行動の把握を組織的に行う**とともに、その結果を授業等教育活動の見直しに活用していますか。
- (要件) 学生の学修時間の実態及び学修行動の把握」のための手法として、アンケート調査等が考えられるが、**学修時間の実態を定量的に把握し集計・分析**していること。
- (設問) 学生本人の**学修成果の把握**や学修等の動機付けのために、単位認定、学位授与、卒業判定等とは別に、以下のア～エのいずれかの手法を用いて**学修成果の把握を行い、学生へのフィードバック**及びその結果を授業等教育活動の見直しに活用していますか。
 - ア 外部の標準化されたテスト等による学修成果の調査・測定(アセスメント・テスト)
 - イ **学生の学修成果を把握するためのアンケート調査等**
 - ウ 学修評価の観点・基準を定めたルーブリックの活用
 - エ 学修ポートフォリオの活用
- (要件) 学修成果の把握とは、成績推移等から教育成果を把握することを目的として、学修前と学修後の双方の時点において、実施すること。また、アンケート調査は学生個人に着目して行われることが必要。この場合、調査対象は学生全員、かつ記名式のもの前提とする。

3

〈2-2〉 調査の背景

- ◆ 学修成果の可視化(評価指標の例) →調査結果の公表が求められている

	入学前・入学直後	在学中	卒業時・卒業後
大学 レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験 ・学生調査 ・調査書等の記載内容 ・入学時調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・休学率 ・退学率 ・学生調査 ・満足度調査 ・学修行動調査 ・課外活動状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業率 ・就職率 ・進学率 ・学位授与数 ・アンケート調査
学部 レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験 ・入学時調査 ・面接、志望理由等 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPA ・進級率 ・休学率 ・退学率 ・修得単位数 ・満足度調査 ・学修行動調査 ・課外活動状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPA ・国家試験合格率 ・単位修得状況 ・卒業時満足度調査 ・アンケート調査 ・就職率 ・学位授与数 ・就職先の卒業生評価
科目 レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験 ・プレメントテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価 ・学修ポートフォリオ 	

4

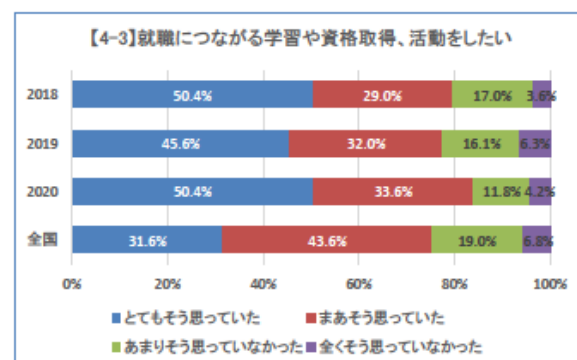
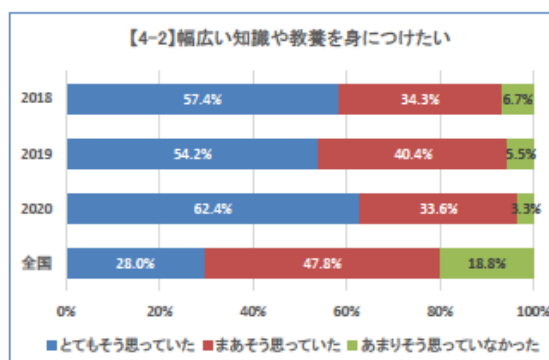
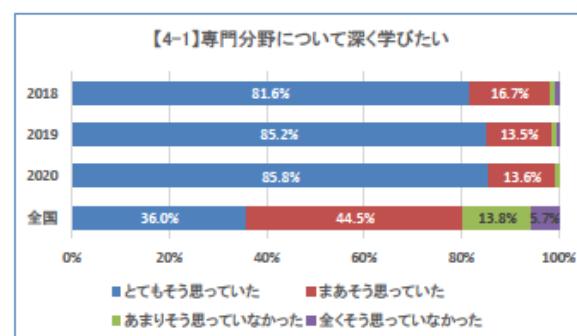
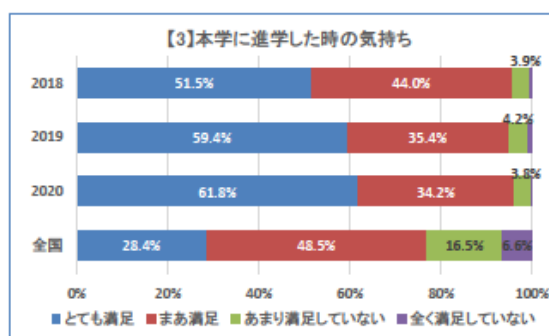
<3> 回答率

			2020	2019	2018	2017
	在学生数	回答者数	回答率	回答率	回答率	回答率
1年生	585人	450人	76.9%	66.8%	65.8%	66.1%
2年生	558人	275人	49.3%	47.1%	46.1%	43.2%
3年生	515人	205人	39.8%	40.5%	32.6%	31.5%
4年生	497人	181人	36.4%	33.2%	31.3%	25.4%
学部合計	2155人	1111人	51.6%	47.8%	45.2%	43.0%

			2020	2019	2018	2017
	在学生数	回答者数	回答率	回答率	回答率	回答率
専攻科	9人	9人	100.0%	66.7%	72.7%	66.7%
院1年生	79人	57人	72.2%	70.1%	68.1%	84.7%
院2年生	65人	44人	67.7%	72.5%	78.9%	66.1%
院合計	153人	110人	71.9%	71.3%	73.0%	75.4%

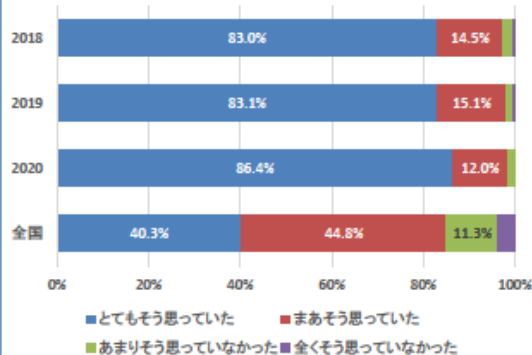
5

<4-1> 分析① 新入生の傾向

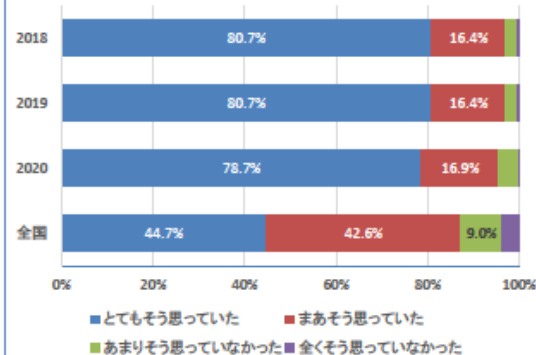


6

【4-6】将来の仕事に役立つような力を身につけたい



【4-7】自分の将来の方向性を見つけたい



・進学満足度(とても満足+まあ満足)は90%を超えており、全国平均に比較し、20ポイントほど高い。また、「とても満足」の回答が2ポイント程高くなっている。

・専門教育について深く学びたい(「とても思う」と考える層が、全国平均に比較し、50ポイント程高い。

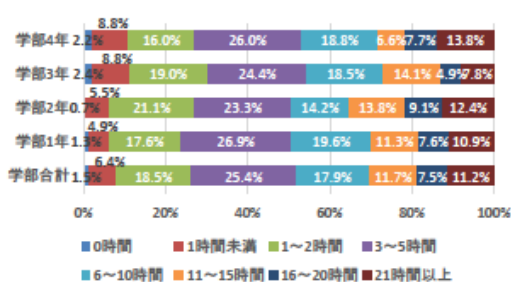
・「就職につながる学習をしたい(「とても思う」と考える層が全国平均に比較し、20ポイント程高い。

・「将来の仕事に役立つような力を身につけたい(「とても思う」)・「自分の将来の方向性を見つけたい(「とても思う」と考える層は、80%を超えており、全国平均に比較し、45ポイント程高い。

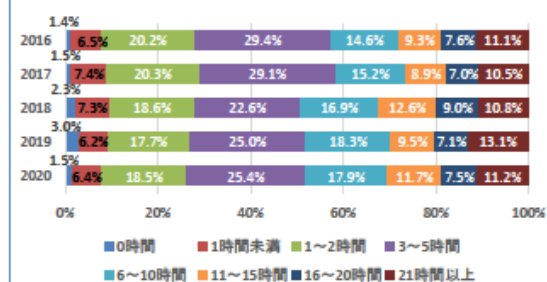
7

<4-2> 分析② 学習時間

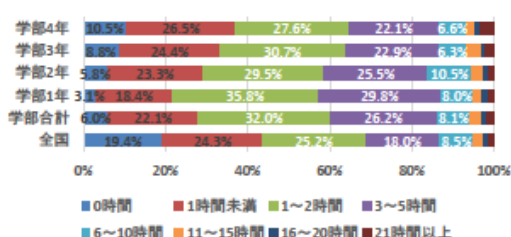
【6-2】専門実技に関する予習復習の時間



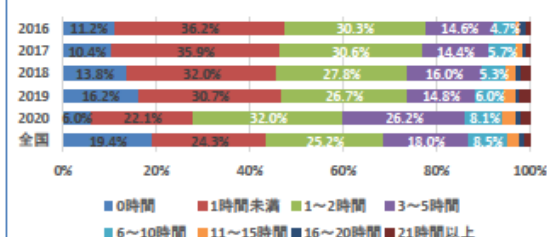
【6-2】専門実技に関する予習復習の時間



【6-3】授業の予習復習や課題をやる時間(専門実技以外で)



【6-3】授業の予習復習や課題をやる時間(専門実技以外で)

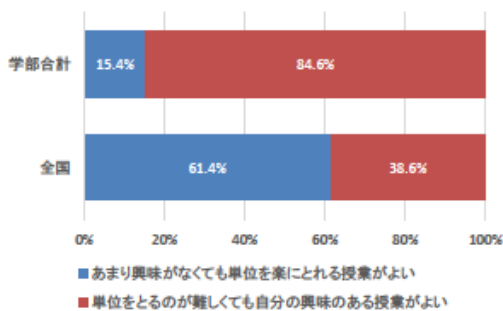


・専門実技と専門実技以外を合わせた予習復習の合計時間は、全国平均を上回る(1日2時間以上が2割)。

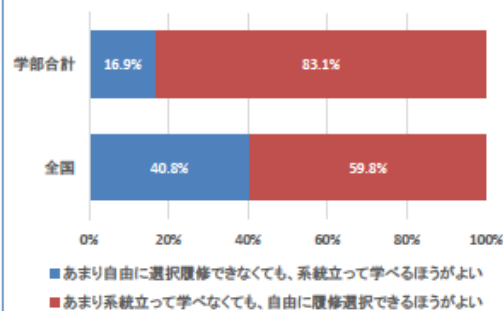
8

＜4-3＞ 分析③ 大学教育への考え方

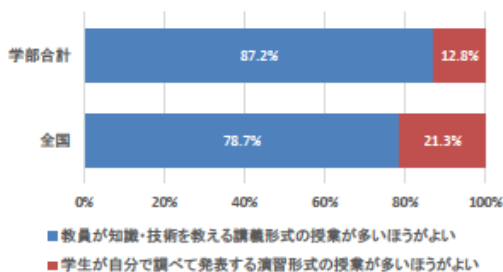
【8-1】単位修得が楽な授業 or 興味のある授業



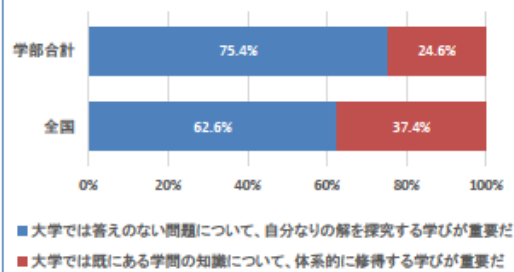
【8-6】自由な科目履修 or 系統的な科目履修



【8-4】教員が知識技能を教える講義形式の授業 or 学生が調べて発表する演習形式の授業

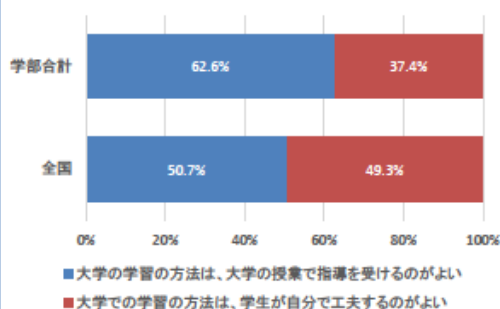


【8-13】自分なりの解を探究する学び or 学問の体系的な学び

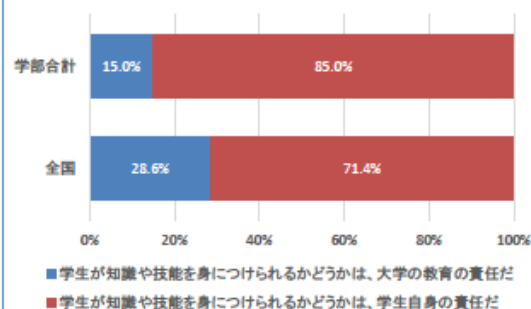


9

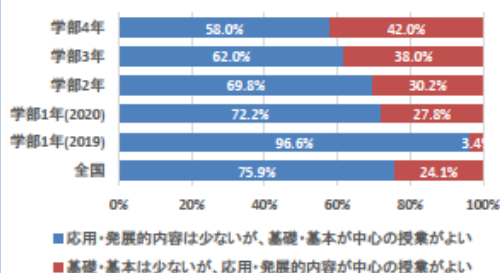
【8-7】大学での学習方法



【8-14】大学教育の責任 or 学生自身の責任



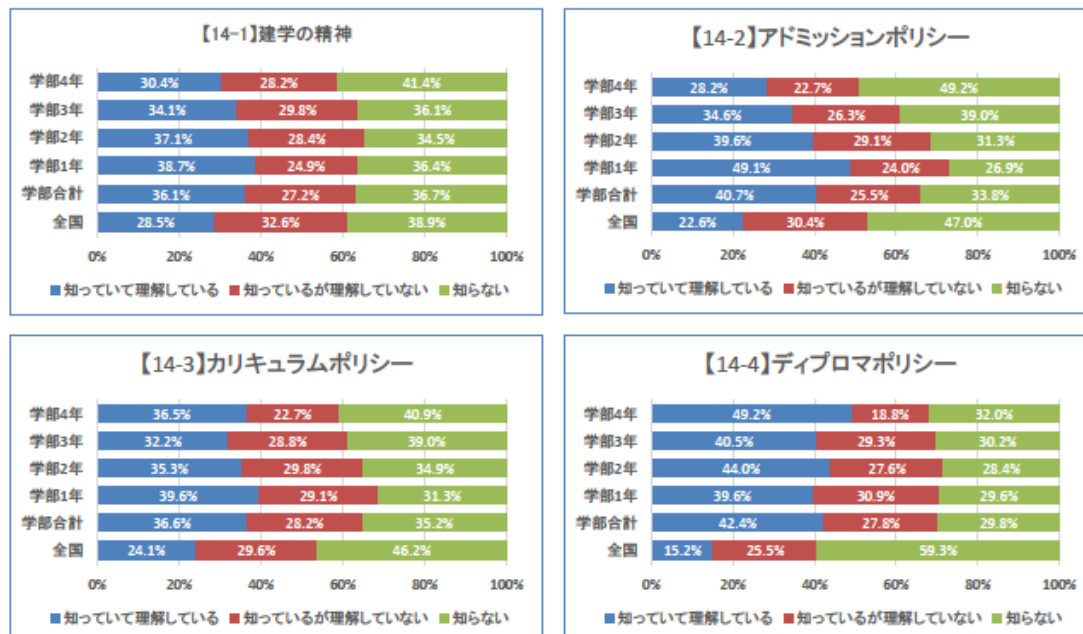
【8-3】基礎基本中心の授業 or 応用発展的内容中心の授業



- ・興味のある授業を自由に科目履修したい
- ・知識技術教授型の講義形式の授業を好む
- ・大学の学習方法は大学の授業で指導を受けたい
- ・学部1年の72.2%は基礎基本中心の授業を望んでいる。
- 学年が上がるにつれ、応用発展的内容を望む声が増える。
- 体系的・順次性のあるカリキュラムや時間割を求めている。

10

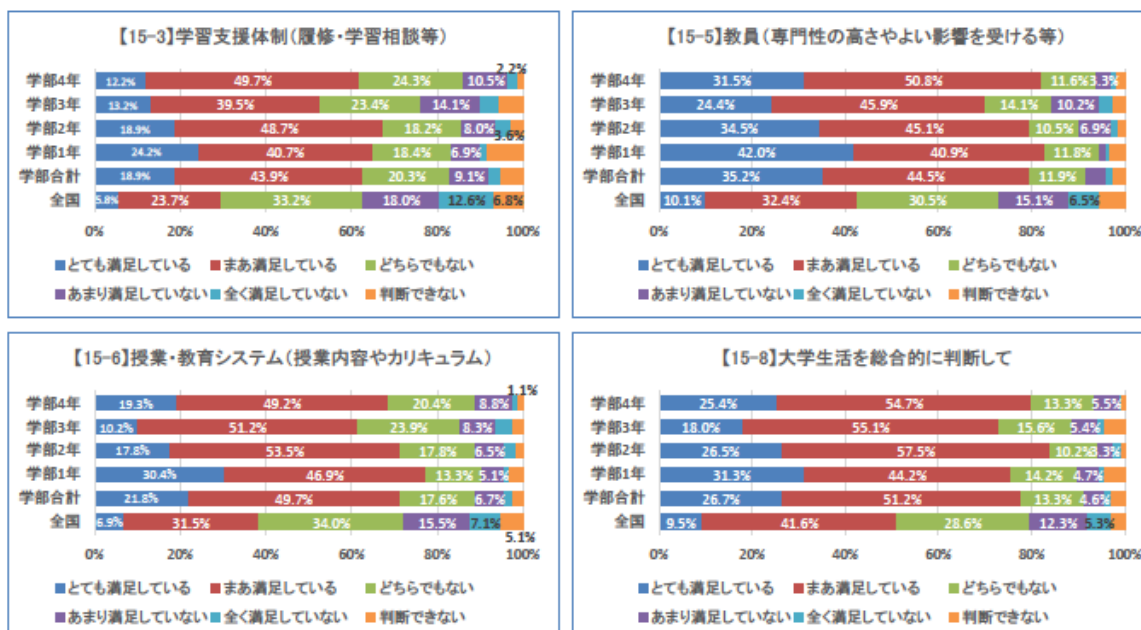
<4-4> 分析④ 建学の精神・3ポリシーの認知度



学部1年のアドミッションポリシーの認知度が高い(受験対策の影響大)。毎年の履修登録時に、ディプロマポリシーの達成度に関する自己評価を求めているため、その認知度は他のポリシーに比較し、高い。

11

<4-5> 分析⑤ 満足度



全国平均に比較し、履修指導や学習指導等の学習支援体制(18.1ポイント)/教員の高度な専門性(35.2ポイント)/授業内容やカリキュラム等の授業・教育システム(21.8ポイント)/総合的な満足度(26.7ポイント)の満足度が高い。

12

<5> まとめ

- ①新入生＝将来の仕事・高い専門性を求める、進学満足度が高い
- ②学習時間＝実技と実技以外の合計値は全国平均を上回る
- ③自由な科目履修を好む一方、学習方法については大学での指導を求め、知識教授型の講義形式の授業を強く望んでいる
→特に、学部1年は、基礎基本中心の授業を求めている(72.2%)。
→体系的・順次性のあるカリキュラムや時間割が必要
- ④ディプロマポリシー(卒業時に身につけておいてほしい力)の認知度を高めていくよう、履修登録時の振り返りを強化する
- ⑤学習支援体制・教員の専門性・授業内容やカリキュラム等の高い満足度を得ている項目に関しては、更に充実を図る

資料3：授業に関するアンケート結果

2021-06-15版

2020年度 前期 授業に関するアンケート

区分別集計結果表

学部・専攻科-講義全体

学部・専攻科-レッスン全体

洗足学園音楽大学・大学院

2020年度前期（遠隔授業用）授業に関するアンケート 講義用 集計結果

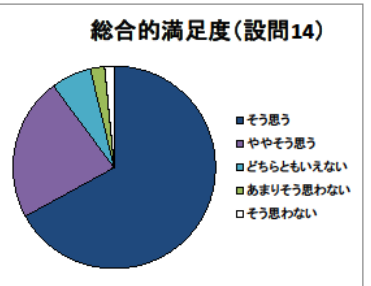
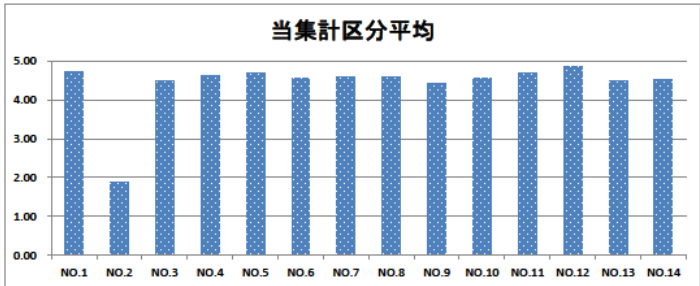
集計区分 学部-大学講義

履修者数	9020
回答数	3584
回答率	39.73%

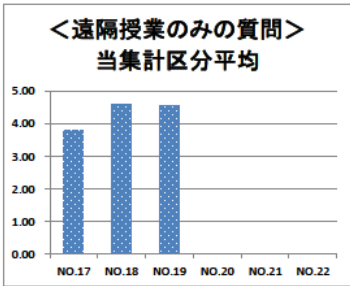
あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	この授業に何回出席しましたか。	4.74	半期15-13回 通年30-25回 79.49%	半期12-10回 通年25-20回 17.30%	半期9-7回 通年19-14回 1.53%	半期6-4回 通年13-8回 0.92%	半期3回以下 通年7回以下 0.75%	3584	0
2	この授業のために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	1.88	4時間以上 4.85%	3-4時間 3.18%	2-3時間 11.10%	1-2時間 36.55%	1時間未満 44.31%	3584	0
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。	4.49	そう思う 60.63%	ややそう思う 30.58%	どちらとも いえない 6.47%	あまりそう 思わない 1.59%	そう思わない 0.73%	3584	0

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	シラバス(主題と目標、授業計画)に沿って授業が行われましたか	4.64	そう思う 72.78%	ややそう思う 20.39%	どちらとも いえない 5.43%	あまりそう 思わない 0.73%	そう思わない 0.67%	3409	175
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.70	78.98%	14.97%	4.17%	1.09%	0.79%	3407	177
6	教員の声や話し方は明瞭でわかりやすかったですか	4.55	71.71%	16.11%	9.12%	1.74%	1.33%	3390	194
7	板書や視聴覚教材、資料の提示方法は適切でしたか	4.59	72.53%	18.22%	5.80%	2.36%	1.09%	3397	187
8	授業に集中できるように配慮をしていましたか (私語の防止、遅刻などへの対応)	4.58	72.32%	15.79%	9.99%	0.95%	0.95%	3363	221
9	学生から質問や発言する時間が与えられていましたか	4.43	67.78%	15.80%	10.98%	2.72%	2.72%	3380	204
10	この授業を受講して有意義でしたか	4.55	69.69%	20.84%	5.91%	2.23%	1.32%	3402	182
11	授業の開始・終了時刻は守られていましたか	4.69	80.25%	11.53%	6.27%	1.03%	0.92%	3382	202
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか	4.85	89.92%	6.43%	2.65%	0.62%	0.38%	3392	192
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか	4.50	66.76%	22.08%	6.80%	2.71%	1.65%	3396	188

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
14	この授業を総合的に評価して満足していますか	4.52	67.02%	22.82%	6.36%	2.26%	1.53%	3584	0



授業科目について:遠隔授業のみの設問		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
17	遠隔授業を受講する際、主に使用している端末を教えてください	3.78	そう思う スマホ 32.71%	ややそう思う タブレット 13.25%	どちらとも パソコン 53.71%	あまりそう その他 0.33%	そう思わない 0.00%	3366	218
18	遠隔授業での課題提出の指示はわかりやすかったですか	4.58	72.58%	17.89%	6.19%	2.01%	1.32%	3326	258
19	遠隔授業での課題の量は適切でしたか	4.54	70.82%	17.54%	7.76%	2.35%	1.53%	3324	260



2021-06-15版

2020年度前期 授業に関するアンケート レッスン用 全体集計結果

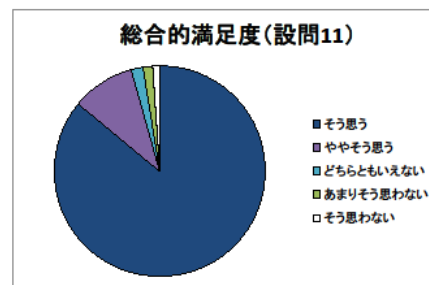
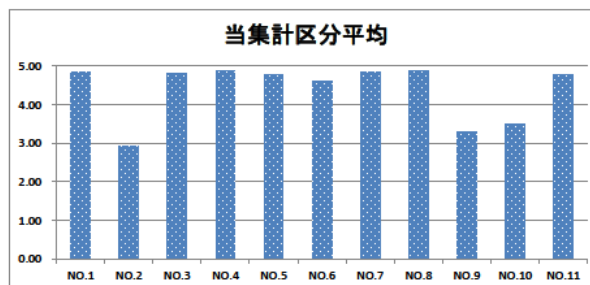
集計区分 学部・専攻科レッスン用-全体

履修者数	1559
回答数	551
回答率	35.34%

あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			半期15-13回 通年30-25回	半期12-10回 通年25-20回	半期9-7回 通年19-14回	半期6-4回 通年13-8回	半期3回以下 通年7回以下		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	4.83	86.21%	11.80%	1.27%	0.54%	0.18%	551	0
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	2.94	4時間以上	3-4時間	2-3時間	1-2時間	1時間未満	551	0
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	4.79	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	551	0
			83.12%	14.34%	1.63%	0.54%	0.36%		

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.88	90.67%	7.24%	1.52%	0.57%	0.00%	525	26
5	教員とのコミュニケーションは上手とれていましたか	4.77	83.59%	12.60%	2.29%	0.76%	0.76%	524	27
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか	4.59	70.36%	22.56%	4.40%	1.53%	1.15%	523	28
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	4.83	85.85%	11.66%	1.91%	0.38%	0.19%	523	28
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	4.89	90.10%	9.14%	0.57%	0.00%	0.19%	525	26
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	3.30	28.02%	14.97%	27.06%	18.62%	11.32%	521	30
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	3.48	34.81%	15.58%	23.65%	14.62%	11.35%	520	31

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	4.78	86.03%	9.62%	1.81%	1.45%	1.09%	551	0



2021-06-15版

2020 年度 後期
授業に関するアンケート

区分別集計結果表

学部・専攻科-講義

学部・専攻科-レッスン

大学院-レッスン

大学院-講義

洗足学園音楽大学・大学院

2020年度後期（遠隔授業用）授業に関するアンケート 講義用 集計結果

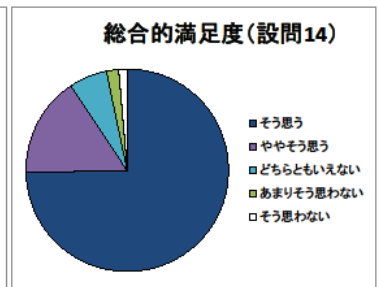
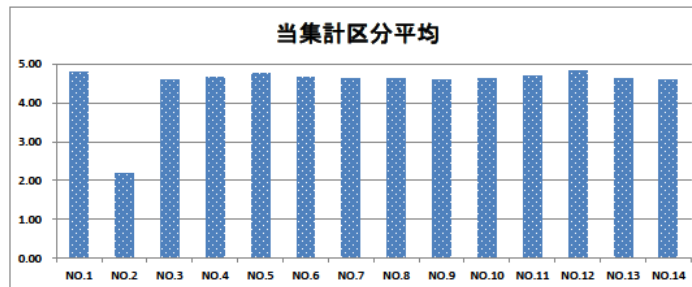
集計区分 **学部-大学講義**

履修者数	20622
回答数	5857
回答率	28.40%

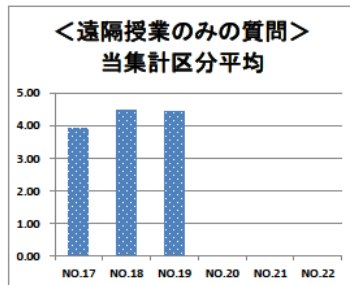
あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	この授業に何回出席しましたか。	4.80	半期15-13回 通年30-25回 86.60%	半期12-10回 通年25-20回 9.82%	半期9-7回 通年19-14回 1.43%	半期6-4回 通年13-8回 1.08%	半期3回以下 通年7回以下 1.08%	5857	0
2	この授業のために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	2.20	4時間以上 10.28%	3-4時間 6.16%	2-3時間 13.25%	1-2時間 33.50%	1時間未満 36.81%	5857	0
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。	4.59	そう思う 70.14%	ややそう思う 20.95%	どちらとも いえない 6.91%	あまりそう 思わない 1.38%	そう思わない 0.61%	5857	0

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	シラバス(主題と目標、授業計画)に沿って授業が行われましたか	4.66	そう思う 76.16%	ややそう思う 15.85%	どちらとも いえない 6.40%	あまりそう 思わない 0.93%	そう思わない 0.65%	5374	483
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.75	82.73%	11.99%	3.77%	0.82%	0.69%	5380	477
6	教員の声や話し方は明瞭でわかりやすかったですか	4.67	78.66%	13.27%	5.71%	1.53%	0.84%	5374	483
7	板書や視聴覚教材、資料の提示方法は適切でしたか	4.62	75.83%	14.39%	7.07%	1.57%	1.14%	5345	512
8	授業に集中できるよう配慮をしていましたか (私語の防止、遅刻などへの対応)	4.64	76.51%	13.76%	7.70%	1.07%	0.95%	5348	509
9	学生から質問や発言する時間が与えられていましたか	4.58	73.69%	15.16%	7.80%	1.72%	1.63%	5343	514
10	この授業を受講して有意義でしたか	4.64	76.40%	15.21%	5.24%	1.79%	1.36%	5378	479
11	授業の開始・終了時刻は守られていましたか	4.69	79.87%	12.60%	5.39%	1.25%	0.90%	5359	498
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか	4.82	87.08%	9.20%	2.68%	0.69%	0.35%	5370	487
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか	4.63	75.76%	15.50%	5.81%	1.75%	1.17%	5367	490

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
14	この授業を総合的に評価して満足していますか	4.61	74.61%	16.03%	6.06%	1.93%	1.37%	5857	0



授業科目について:遠隔授業のみの設問		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
17	遠隔授業を受講する際、主に使用している端末を教えてください	3.93	38.00%	17.27%	44.34%	0.38%	0.00%	5002	855
18	遠隔授業での課題提出の指示はわかりやすかったですか	4.45	60.07%	29.44%	6.35%	4.15%	0.00%	1182	4675
19	遠隔授業での課題の量は適切でしたか	4.43	56.89%	33.08%	6.35%	3.68%	0.00%	1197	4660



2021-06-15版

2020年度後期 授業に関するアンケート レッスン用 全体集計結果

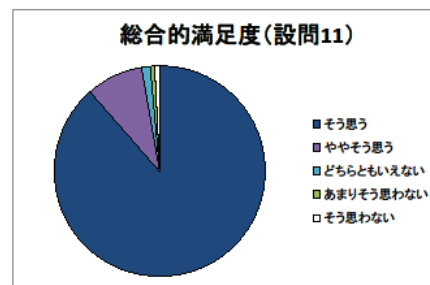
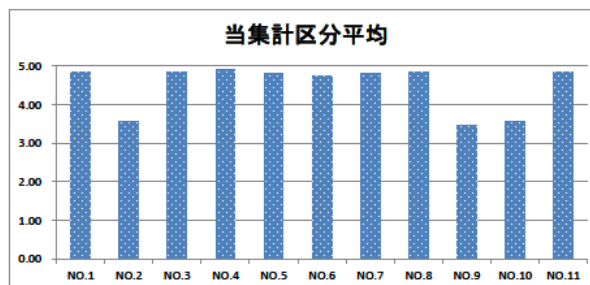
集計区分 学部・専攻科レッスン用-全体

履修者数	4019
回答数	902
回答率	22.44%

あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			半期15-13回 通年30-25回	半期12-10回 通年25-20回	半期9-7回 通年19-14回	半期6-4回 通年13-8回	半期3回以下 通年7回以下		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	4.84	90.24%	6.65%	1.22%	0.55%	1.33%	902	0
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	3.57	4時間以上 38.14%	3-4時間 14.08%	2-3時間 21.51%	1-2時間 19.51%	1時間未満 6.76%	902	0
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	4.85	そう思う 87.47%	ややそう思う 10.20%	どちらとも いえない 2.00%	あまりそう 思わない 0.11%	そう思わない 0.22%	902	0

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.91	92.74%	6.09%	0.94%	0.12%	0.12%	854	48
5	教員とのコミュニケーションは上手とれていましたか	4.82	86.96%	9.87%	2.00%	0.71%	0.47%	851	51
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか	4.75	79.76%	16.47%	3.18%	0.24%	0.35%	850	52
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	4.81	85.08%	11.87%	2.23%	0.47%	0.35%	851	51
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	4.84	87.66%	9.52%	2.00%	0.59%	0.24%	851	51
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	3.45	33.57%	15.90%	24.97%	13.31%	12.25%	849	53
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	3.58	40.99%	14.72%	18.37%	12.72%	13.19%	849	53

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	4.84	88.58%	8.65%	1.33%	0.67%	0.78%	902	0



2020年度後期（遠隔授業用）授業に関するアンケート 講義用 集計結果

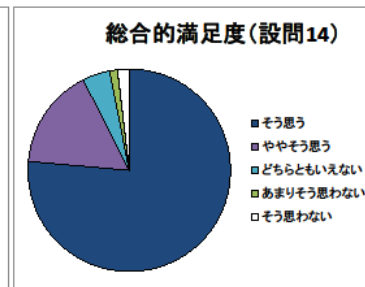
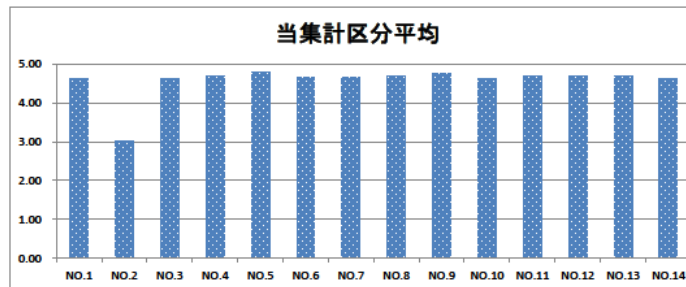
集計区分 **大学院-講義**

履修者数	672
回答数	161
回答率	23.96%

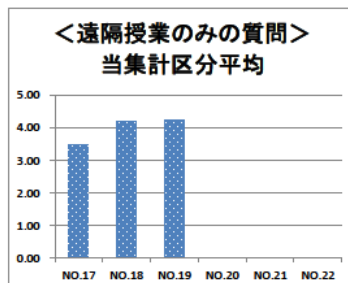
あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	この授業に何回出席しましたか。	4.64	半期15-13回 通年30-25回 81.37%	半期12-10回 通年25-20回 8.70%	半期9-7回 通年19-14回 5.59%	半期6-4回 通年13-8回 1.24%	半期3回以下 通年7回以下 3.11%	161	0
2	この授業のために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	3.01	4時間以上 25.47%	3-4時間 13.66%	2-3時間 18.63%	1-2時間 20.50%	1時間未満 21.74%	161	0
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。	4.64	そう思う 78.26%	ややそう思う 11.80%	どちらとも いえない 7.45%	あまりそう 思わない 0.62%	そう思わない 1.86%	161	0

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	シラバス(主題と目標、授業計画)に沿って授業が行われましたか	4.68	そう思う 78.26%	ややそう思う 13.04%	どちらとも いえない 8.07%	あまりそう 思わない 0.00%	そう思わない 0.62%	161	0
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.80	86.96%	7.45%	4.35%	0.62%	0.62%	161	0
6	教員の声や話し方は明瞭でわかりやすかったですか	4.67	81.37%	8.70%	6.21%	3.11%	0.62%	161	0
7	板書や視聴覚教材、資料の提示方法は適切でしたか	4.66	76.88%	14.38%	7.50%	0.63%	0.63%	160	1
8	授業に集中できるように配慮をされていましたか (私語の防止、遅刻などへの対応)	4.68	77.64%	14.91%	6.21%	0.62%	0.62%	161	0
9	学生から質問や発言する時間が与えられていましたか	4.77	84.38%	10.63%	3.75%	0.00%	1.25%	160	1
10	この授業を受講して有意義でしたか	4.64	78.62%	11.32%	6.29%	2.52%	1.26%	159	2
11	授業の開始・終了時刻は守られていましたか	4.70	84.47%	5.59%	7.45%	0.62%	1.86%	161	0
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか	4.68	83.23%	7.45%	5.59%	1.86%	1.86%	161	0
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか	4.69	79.25%	13.84%	4.40%	1.89%	0.63%	159	2

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
14	この授業を総合的に評価して満足していますか	4.64	76.40%	16.15%	4.35%	1.24%	1.86%	161	0



授業科目について:遠隔授業のみの設問		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
17	遠隔授業を受講する際、主に使用している端末を教えてください	3.48	19.33%	10.00%	70.00%	0.67%	0.00%	150	11
18	遠隔授業での課題提出の指示はわかりやすかったですか	4.19	51.06%	23.40%	19.15%	6.38%	0.00%	47	114
19	遠隔授業での課題の量は適切でしたか	4.22	51.02%	28.57%	12.24%	8.16%	0.00%	49	112



2021-06-15版

2020年度後期 授業に関するアンケート レッスン用 全体集計結果

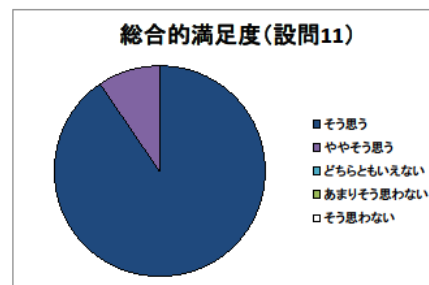
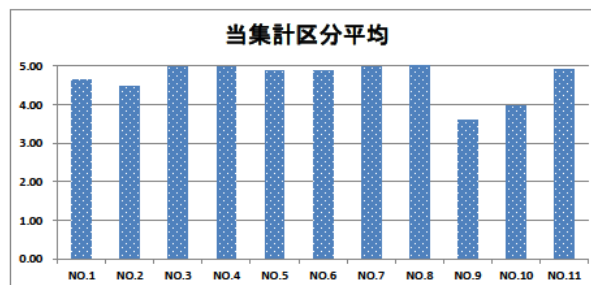
集計区分 大学院-レッスン

履修者数	298
回答数	63
回答率	21.14%

あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			半期15-13回 通年30-25回	半期12-10回 通年25-20回	半期9-7回 通年19-14回	半期6-4回 通年13-8回	半期3回以下 通年7回以下		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	4.63	76.19%	14.29%	6.35%	3.17%	0.00%	63	0
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	4.46	4時間以上 69.84%	3-4時間 12.70%	2-3時間 11.11%	1-2時間 6.35%	1時間未満 0.00%	63	0
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	4.97	そう思う 96.83%	ややそう思う 3.17%	どちらとも いえない 0.00%	あまりそう 思わない 0.00%	そう思わない 0.00%	63	0

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.98	98.41%	1.59%	0.00%	0.00%	0.00%	63	0
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか	4.87	87.30%	12.70%	0.00%	0.00%	0.00%	63	0
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか	4.89	88.89%	11.11%	0.00%	0.00%	0.00%	63	0
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	4.97	96.77%	3.23%	0.00%	0.00%	0.00%	62	1
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	5.00	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	63	0
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	3.61	44.07%	16.95%	8.47%	16.95%	13.56%	59	4
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	3.95	58.73%	7.94%	11.11%	14.29%	7.94%	63	0

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	4.90	90.48%	9.52%	0.00%	0.00%	0.00%	63	0



資料4：卒業時満足度調査結果

2020年度 卒業時満足度調査

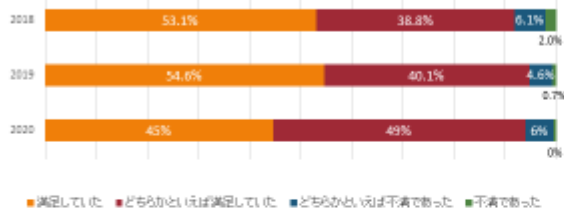
洗足学園音楽大学

調査概要

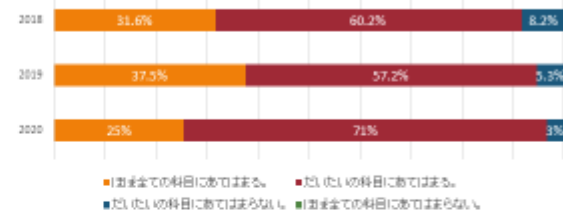
調査目的	学生の率直な意見を聞くことにより、学生生活の実態や考えを把握し、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実につなげる
調査方法	SENZOKUポータル・アンケート機能による
対象	2021年3月卒業予定の音楽学部4年生（全コース）
調査時期	2021年1月14日（木）～3月18日（水）
所要時間	10分弱
質問数	21問
調査項目	教員・授業内容 / 大学事務局 / 設備・施設 / 学生生活を振り返って
回答率	44%（対象者数：481名、回答者数：213名）

【教員や授業についての満足度】

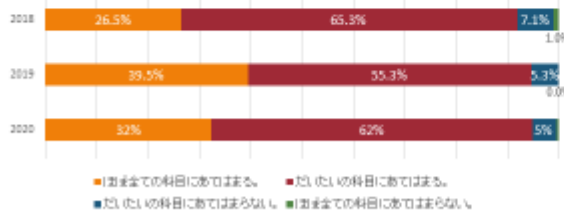
【2-1】教員や授業内容について、全般的にどの程度満足していましたか。



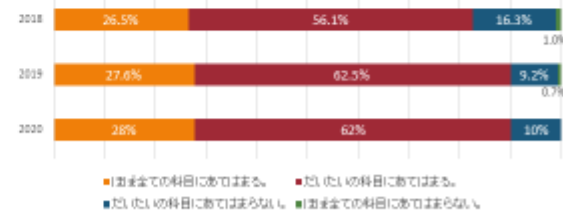
【2-2】シラバスからは、各授業科目の到達目標、学習内容、成績評価方法などについての確な情報を得ることができた。



【2-3】それぞれの授業科目が何を目標としたものか、到達目標が明確だった。



【2-4】授業では、学生の学習意欲を高める工夫がなされていた。

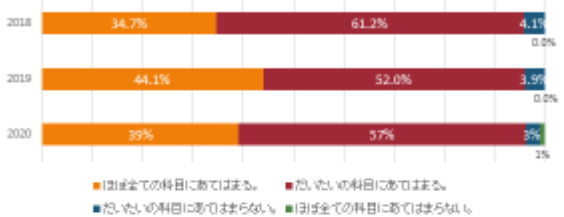


2020年度卒業時満足度調査

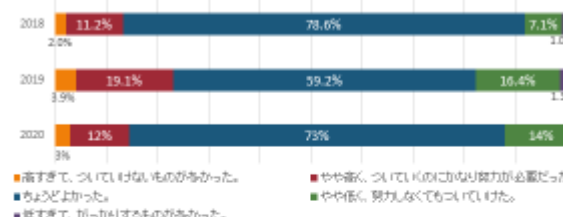
3

【教員や授業についての満足度】

【2-5】単位認定や成績評価は明確な基準・方法に基づいて適切に行われていた。

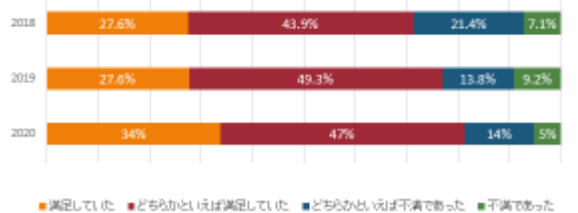


【2-6】授業のレベルは全体的にみてどうでしたか。

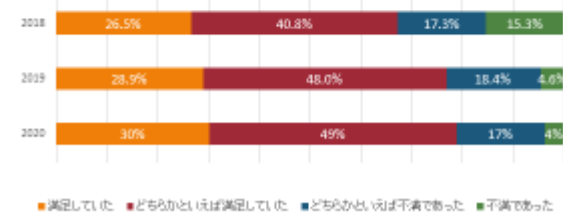


【大学事務局についての満足度】

【3-1】職員の対応について、全般的にどの程度満足していましたか。



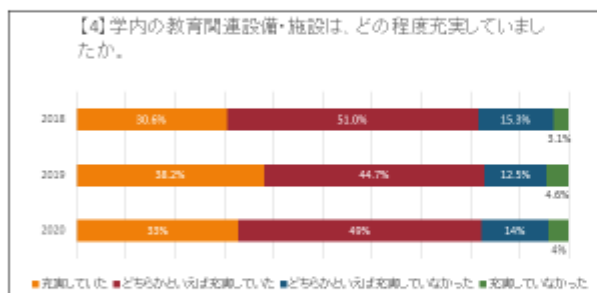
【3-2】事務手続きについて、全般的にどの程度満足していましたか。



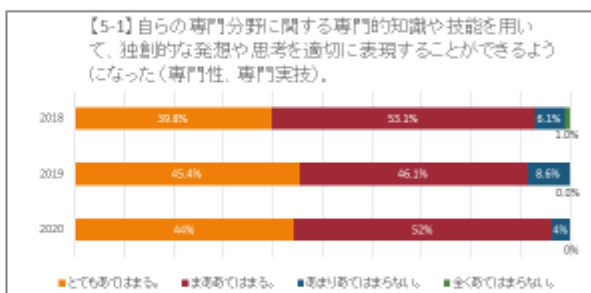
2020年度卒業時満足度調査

4

【設備・施設についての満足度】



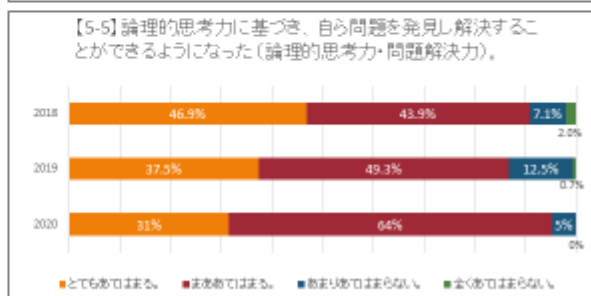
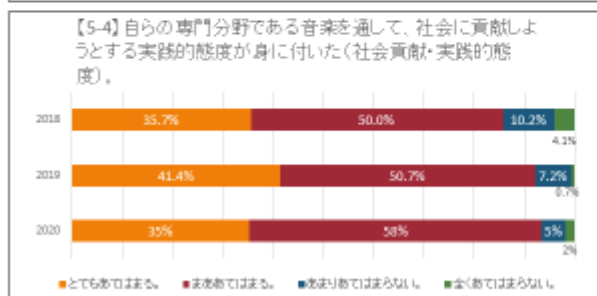
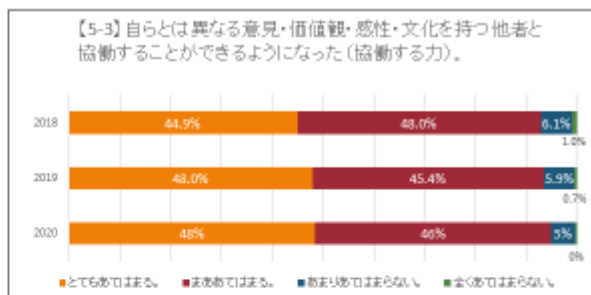
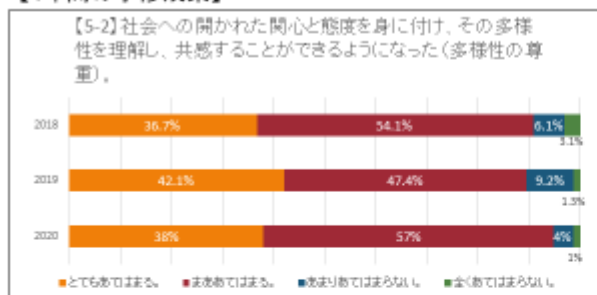
【4年間の学修成果】



2020年度卒業時満足度調査

5

【4年間の学修成果】

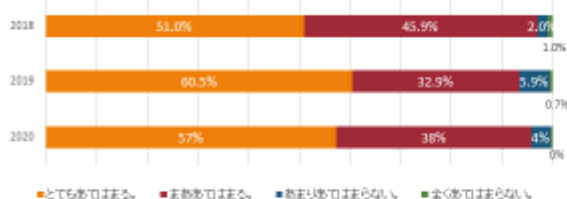


2020年度卒業時満足度調査

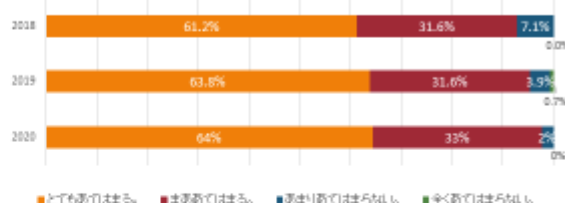
6

【大学生生活全般】

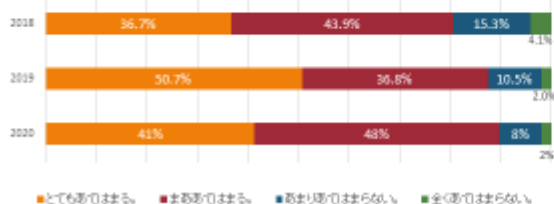
【6-1】洗足学園音楽大学を卒業できて良かった。



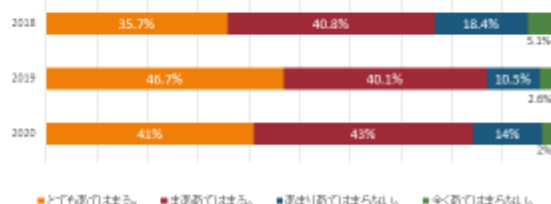
【6-2】自らが所属したコースで学んだ意義があった。



【6-3】洗足学園音楽大学を卒業できることを誇らしく思っている。



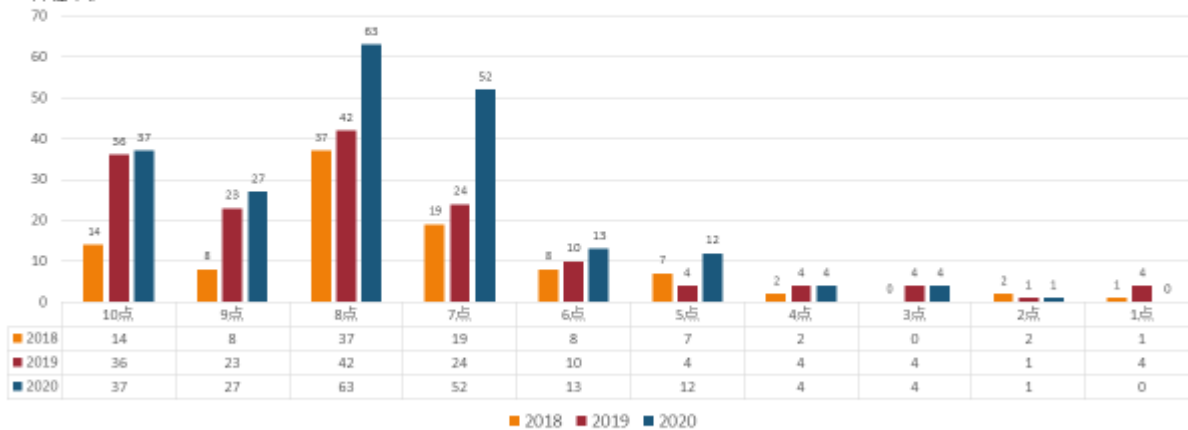
【6-4】洗足学園音楽大学に愛着を持っている。



【大学生生活全般】

【6-5】4年間の学生生活の総合的な満足度(10点法)

(単位:人)



2020年度卒業満足度調査 結果データ		2020		2019		2018	
[1]	あなたの卒業しているコースを入力してください。	人数	%	人数	%	人数	%
[2]	教員や授業についての満足度についてお尋ねします。						
[2-1]	教員や授業内容について、全般的にどの程度満足していましたか。						
	満足していた	95	45%	83	54.6%	52	53.1%
	どちらかといえば満足していた	105	49%	61	40.1%	38	38.8%
	どちらかといえば不満足であった	12	6%	7	4.6%	6	6.1%
	不満足であった	1	0%	1	0.7%	2	2.0%
	合計	213		152		98	
[2-2]	シラバスからは、各種科目の到達目標、学習内容、成績評価方法などについて的確な情報を得ることができた。						
	ほぼ全ての科目にあてはまる。	54	25%	57	37.5%	31	31.6%
	ほとんどの科目にあてはまる。	102	71%	87	57.2%	59	60.2%
	ほとんどの科目にあてはまらない	7	3%	8	5.3%	8	8.2%
	ほぼ全ての科目にあてはまらない。	0	0%	0	0.0%	0	0.0%
	合計	213		152		98	
[2-3]	それぞれの授業科目が何を目指したものが、到達目標が明確だった。						
	ほぼ全ての科目にあてはまる。	89	32%	80	39.5%	26	26.5%
	ほとんどの科目にあてはまる。	133	62%	84	55.3%	64	65.3%
	ほとんどの科目にあてはまらない	10	5%	8	5.3%	7	7.1%
	ほぼ全ての科目にあてはまらない。	1	0%	0	0.0%	1	1.0%
	合計	213		152		98	
[2-4]	授業では、学生の学習意欲を高める工夫がなされていた。						
	ほぼ全ての科目にあてはまる。	59	28%	42	27.6%	26	26.5%
	ほとんどの科目にあてはまる。	133	62%	95	62.5%	55	56.1%
	ほとんどの科目にあてはまらない	21	10%	14	9.2%	16	16.3%
	ほぼ全ての科目にあてはまらない。	0	0%	1	0.7%	1	1.0%
	合計	213		152		98	
[2-5]	単元認定や成績評価は明確な基準・方法に基づいて適切に行われていた。						
	ほぼ全ての科目にあてはまる。	83	39%	67	44.1%	34	34.7%
	ほとんどの科目にあてはまる。	122	57%	79	52.0%	60	61.2%
	ほとんどの科目にあてはまらない	6	3%	6	3.9%	4	4.1%
	ほぼ全ての科目にあてはまらない。	2	1%	0	0.0%	0	0.0%
	合計	213		152		98	
[2-6]	授業のレベルは全体的にみてどうでしたか。						
	適すぎて、ついていけないものが多かった。	6	3%	6	3.9%	2	2.0%
	やや高く、ついていけないかながら努力が必要だった。	24	12%	29	19.1%	11	11.2%
	ちょうどよかった。	102	73%	80	59.2%	77	78.6%
	やや低く、努力しなくてもついていった。	29	14%	25	16.4%	7	7.1%
	低すぎて、がっかりするものがあった。	2	1%	2	1.3%	1	1.0%
	合計	207		152		98	

9

2020年度卒業満足度調査 結果データ		2020		2019		2018	
[3]	大学卒業後に关する満足度についてお尋ねします。						
[3-1]	職員の対応について、全般的にどの程度満足していましたか。						
	満足していた	72	34%	42	27.6%	27	27.6%
	どちらかといえば満足していた	101	47%	75	49.2%	43	43.9%
	どちらかといえば不満足であった	29	14%	21	13.8%	21	21.4%
	不満足であった	11	5%	14	9.2%	7	7.1%
	合計	213		152		98	
[3-2]	事務手続きについて、全般的にどの程度満足していましたか。						
	満足していた	84	39%	44	28.9%	26	26.5%
	どちらかといえば満足していた	104	49%	73	48.0%	40	40.8%
	どちらかといえば不満足であった	37	17%	28	18.4%	17	17.3%
	不満足であった	8	4%	7	4.6%	15	15.3%
	合計	213		152		98	
[4]	学内の教育関連設備・施設は、どの程度充実していましたか。						
	充実していた	70	33%	58	38.2%	30	30.6%
	どちらかといえば充実していた	105	49%	68	44.7%	50	51.0%
	どちらかといえば充実していなかった	29	14%	19	12.5%	15	15.3%
	充実していなかった	9	4%	7	4.6%	3	3.1%
	合計	213		152		98	
[5]	卒業認定、学位授与の方針(ディプロマポリシー)に照らして、4年間の学習成果についてお尋ねします。						
[5-1]	自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、積極的な発想や思考を適切に表現することができるようになった(専門性、専門実践)。						
	とてもあてはまる。	94	44%	69	45.4%	39	39.8%
	まああてはまる。	111	52%	70	46.1%	52	53.1%
	あまりあてはまらない。	8	4%	13	8.6%	6	6.1%
	全くあてはまらない	0	0%	0	0.0%	1	1.0%
	合計	213		152		98	
[5-2]	社会への関心や関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができるようになった(多様性の尊重)。						
	とてもあてはまる。	81	38%	64	42.1%	36	36.7%
	まああてはまる。	121	57%	72	47.4%	53	54.1%
	あまりあてはまらない。	8	4%	14	9.2%	6	6.1%
	全くあてはまらない	3	1%	2	1.3%	3	3.1%
	合計	213		152		98	
[5-3]	自らは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができるようになった(協働する力)。						
	とてもあてはまる。	103	48%	73	48.0%	44	44.9%
	まああてはまる。	99	46%	69	45.4%	47	48.0%
	あまりあてはまらない。	10	5%	9	5.9%	6	6.1%
	全くあてはまらない	1	0%	1	0.7%	1	1.0%
	合計	213		152		98	

10

2020年度卒業生満足度調査 結果ページ9		2020	2019	2018			
【5-4】 自らの専門分野である専攻を通して、社会に貢献しようとする実践的態度が身に付いた(社会貢献実践的態度)。	とてもあてはまる。	75	35%	63	41.4%	35	35.7%
	まああてはまる。	124	58%	77	50.7%	49	50.0%
	あまりあてはまらない。	10	5%	11	7.2%	10	10.2%
	全くあてはまらない。	4	2%	1	0.7%	4	4.1%
	合計	213		152		98	
【5-5】 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができるようになった(論理的思考力・問題解決力)。	とてもあてはまる。	67	31%	67	37.5%	46	46.9%
	まああてはまる。	136	64%	75	49.3%	43	43.9%
	あまりあてはまらない。	10	5%	19	12.5%	7	7.1%
	全くあてはまらない。	0	0%	1	0.7%	2	2.0%
	合計	213		152		98	
【6】 大学生活全般についてお尋ねします。							
【6-1】 洗足学園音楽大学を卒業できて良かった。	とてもあてはまる。	122	57%	92	60.5%	50	51.0%
	まああてはまる。	82	38%	50	32.9%	45	45.9%
	あまりあてはまらない。	6	4%	9	5.9%	2	2.0%
	全くあてはまらない。	1	0%	1	0.7%	1	1.0%
	合計	213		152		98	
【6-2】 自らが履修したコースで学んだ意義があった。	とてもあてはまる。	137	64%	97	63.8%	60	61.2%
	まああてはまる。	71	33%	48	31.6%	31	31.6%
	あまりあてはまらない。	5	2%	6	3.9%	7	7.1%
	全くあてはまらない。	0	0%	1	0.7%	0	0.0%
	合計	213		152		98	
【6-3】 洗足学園音楽大学を卒業できることを誇らしく思っている。	とてもあてはまる。	88	41%	77	50.7%	36	36.7%
	まああてはまる。	103	48%	66	36.8%	43	43.9%
	あまりあてはまらない。	18	9%	16	10.5%	15	15.3%
	全くあてはまらない。	4	2%	3	2.0%	4	4.1%
	合計	213		152		98	
【6-4】 洗足学園音楽大学に愛着を持っている。	とてもあてはまる。	87	41%	71	46.7%	35	35.7%
	まああてはまる。	92	43%	61	40.1%	40	40.8%
	あまりあてはまらない。	29	14%	16	10.5%	18	18.4%
	全くあてはまらない。	5	2%	4	2.6%	5	5.1%
	合計	213		152		98	

資料5：修了時満足度調査結果

2020年度 修了時満足度調査

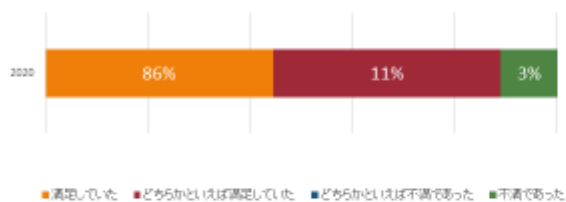
洗足学園音楽大学

調査概要

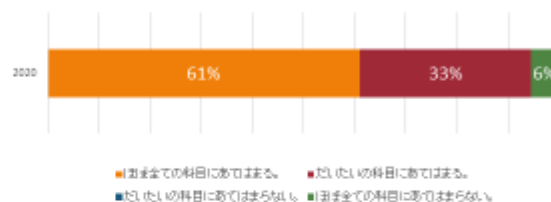
調査目的	学生の率直な意見を聞くことにより、学生生活の実態や考えを把握し、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実につなげる
調査方法	SENZOKUポータル・アンケート機能による
対象	2021年3月修了予定の大学院2年生（全コース）
調査時期	2021年1月22日（金）～3月18日（木）
所要時間	10分弱
質問数	22問
調査項目	教員・授業内容 / 大学事務局 / 設備・施設 / 学生生活を振り返って
回答率	55%（対象者数：65名、回答者数：36名）

【教員や授業についての満足度】

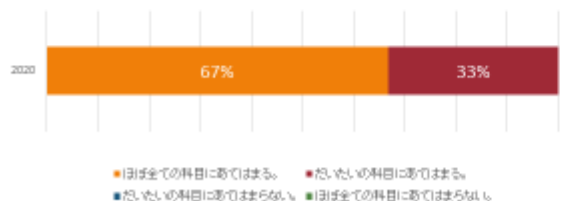
【2-1】教員や授業内容について、全般的にどの程度満足していましたか。



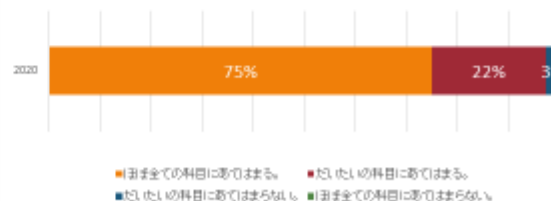
【2-2】シラバスからは、各授業科目の到達目標、学習内容、成績評価方法などについての的確な情報を得ることができた。



【2-3】それぞれの授業科目が何を目標としたものが、到達目標が明確だった。



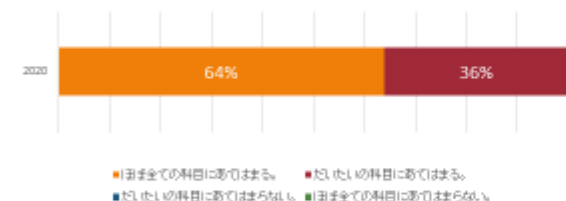
【2-4】授業では、学生の学習意欲を高める工夫がなされていた。



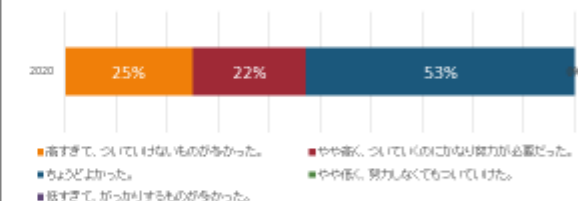
2020年度修了時満足度調査

【教員や授業についての満足度】

【2-5】単位認定や成績評価は明確な基準・方法に基づいて適切に行われていた。

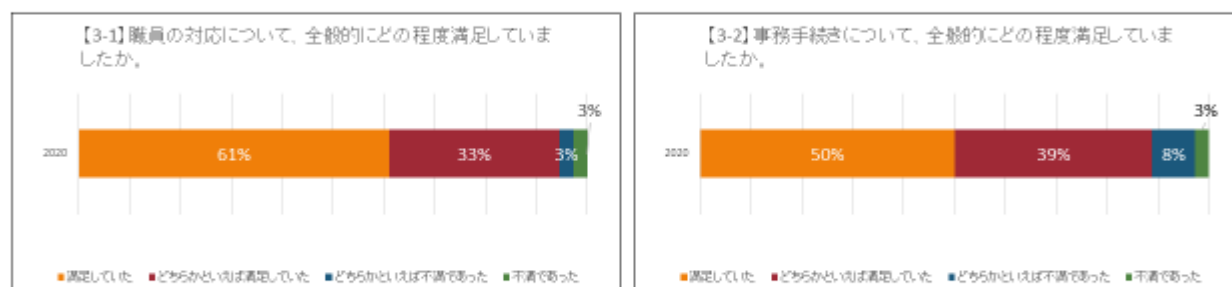


【2-6】授業のレベルは全体的にみてどうでしたか。



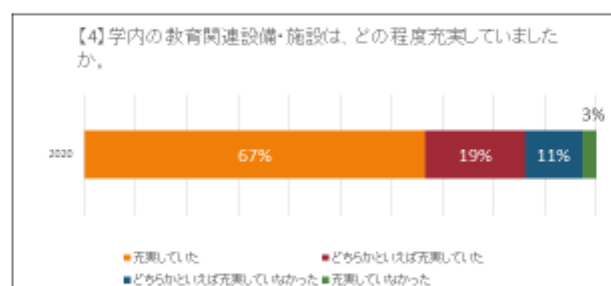
2020年度修了時満足度調査

【大学事務局についての満足度】



2020年度修了時満足度調査

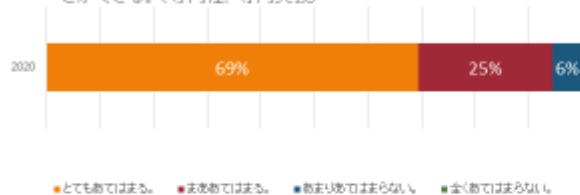
【施設・設備についての満足度】



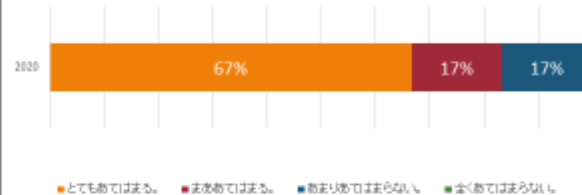
2020年度修了時満足度調査

【2年間の学修成果】

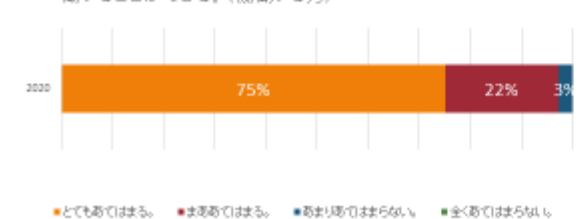
【5-1】自らの専門分野の高度で専門的な知識・技能あるいは研究能力を用いて、独自の発想や思考を適切に表現することができる。(専門性・専門実技)



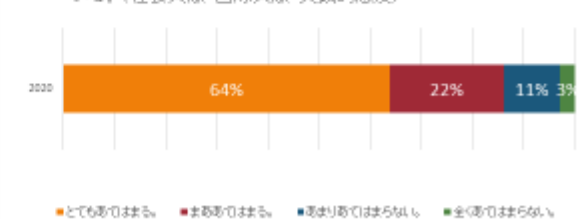
【5-2】社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。(多様性の尊重)



【5-3】自らは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。(協働する力)



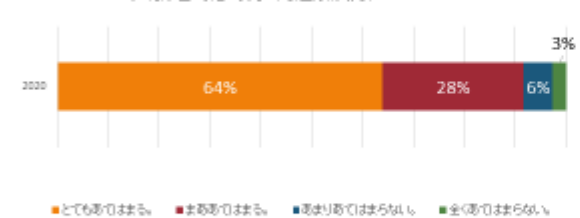
【5-4】国際社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。(社会貢献・国際貢献・実践的態度)



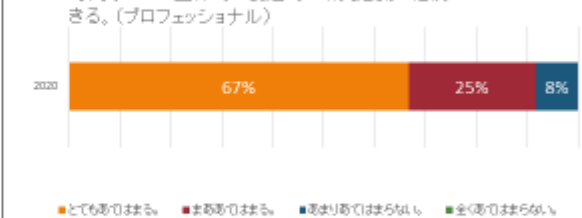
2020年度修了時満足度調査

【2年間の学修成果】

【5-5】論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。(論理的思考力・問題解決力)

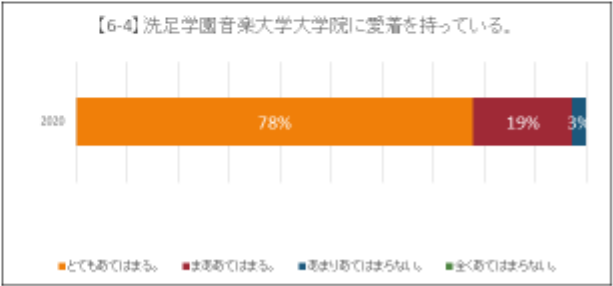
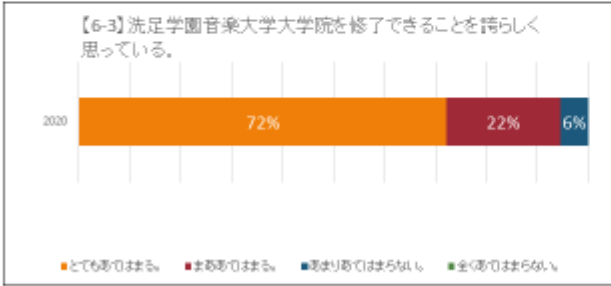
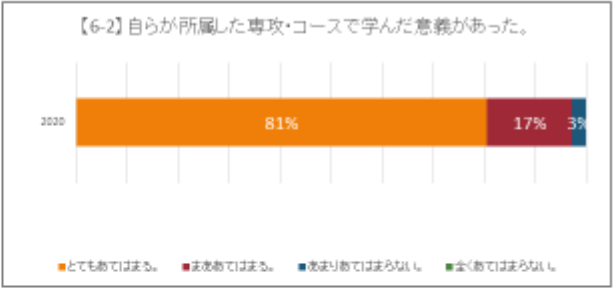
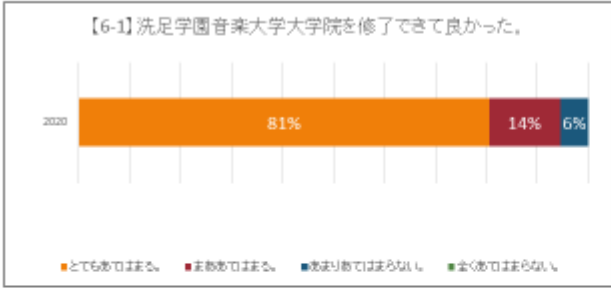


【5-6】社会における自らの専門分野の意義と役割を理解し、専門家として主体的で創造的な研究活動を継続することができる。(プロフェッショナル)



2020年度修了時満足度調査

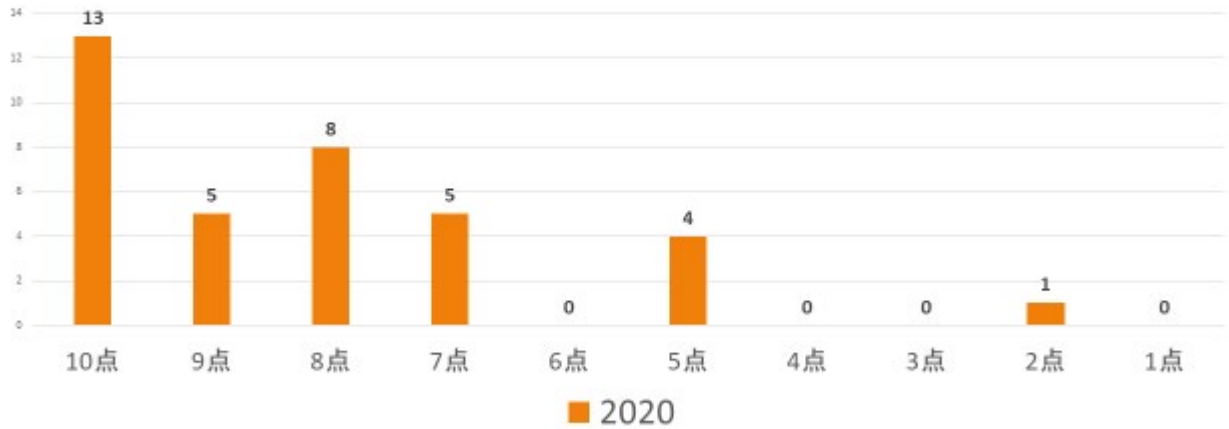
【大学院生活全般】



2020年度修了時満足度調査

【大学生生活全般】

【6-5】本学における、あなたの4年間の学生生活の総合的な満足度を10点満点で評価してください。



2020年度修了時満足度調査